斐太後風土記

大野郡 巻之六

巻之七

和書門
類 二三六四 號 一三 函 二〇 冊

内閣文庫
和書 類 二二六〇四 號 二〇 冊 一七四 函 一二六 架

内閣文庫
番號	和	22604
冊數	20	(7)
函號	174	191

地 八一

国立公文書館
National Archives of Japan

日本政府図書

斐太後風土記巻六

三枝郷

富田礼彦謹撰

和名抄云飛騨國大野郡三枝（佐以久佐）郷トアル是也古事記中巻（日檮原宮下巻傳二十ノ二十一）山由理草ハ百合ノ一種ナルヘシ山田理草之本名云佐韋也云云　冠辞考さきくさノ條古ニ三枝ト書テ佐紀久佐ト云シハ佐由理花ナルヘシ佐韋佐紀ト通ッ傳云信ニ古ニハ佐韋草ヲ三枝（サキクサ）ト云テ一物ナルヘシ（人ノ氏族ニ三枝ヲ佐伊具佐ト唱ヘコハ紀ヲ音便ニ伊ト云ナリ）神名式ニ大和國添上郡率（イザ）川（カハニ）坐大（オホ）神御（ミツ）子神社三座是ヲ或書ニ三座中ハ伊須氣余理比賣命左ハ事代主ノ神古ハ玉櫛媛ニト云リサモアルベシ

閣 93

国立公文書館 National Archives of Japan

神祇令ニ孟夏三枝祭義解ニ率川ノ社ノ祭也以三枝華飾酒罇祭故曰三枝也ナト見ユ今モ此三枝郷ハ幸草洞アリ古ヘ山百合草ノ澤ニ生シ故ノ名ナルヘシ（傳四十三ノ五十三ノ注ニ福草トカケルハ只佐枝ト云ニ福字ヲ借レルノミニ字ニ意ナレトアルコトク幸草モ同義ナラム）又抄ニ下總國千葉郡ニモ加賀国江沼郡ニモ三枝（佐以久佐）郷アリ同義ニヤ（三枝部ハ姓氏録ヲ始諸書ニアマタ出テ諸人ノ知処ナレハ畧ス）

三枝（佐以久佐）ヲ（美太衣）ト訓カヘタルハ古ヲ知ラヌ後人ノ僻言ニ本土ノヲノミ稽テ下總ト加賀トノヲ如何ハ為ム又大樹ノ枝ヲ三ツニ伐レ故上切中切下切ナトノ説ハ（前原赤保木ハ何レニカ代ツラム）何レモ井蛙ノ見ナラム（サキクサハ元來草ノ姓氏録ニ三莖草日本紀ニ福草延喜式ニ瑞草和名抄ニ葛トカケリ大樹トハ可笑）

三枝郷五箇村

前原村　赤保木村　上切村　中切村（三分二金納　三分一米納）　下切村

高千四百二十一石六斗三升七合

家二百戸

人千四十人

伽藍　四十九院

伽藍ハ創建年代寺号廢絶トモ不詳下切村ニ伽藍跡ト云名ノミ残リテ元禄検地ニ反別六畝廿三歩除地ト成ヌ（宝暦除地帳モ同シ）

日本紀巻三十云 高天原廣野姫（後御謚持統）天皇朱鳥元年冬十月己巳皇子大津謀反発覚逮捕之庚午賜死皇子大津於譯語田舎時年二十四妃皇女山辺被髪徒跣奔赴殉焉見者歔欷云々又詔田新羅沙門行心與皇子大津謀反朕不忍加法徙飛騨國伽藍ニ（其後行心ノ事蹟不詳）跡ハ下切村

四十九院ハ其伽藍ノ塔頭カ子院ナリツラム郷中ニ散在上切村ノ當堅寺ハ其一院ナリツラム

粟田道麻呂

續日本紀 稱徳天皇天平神護元年八月

粟田道麻呂ヲ飛騨員外其怨家ノ從四位ノ下上ツ道ノ朝臣斐太都ヲ飛騨守トシテ任ニ来テ道麿夫婦ヲ一院ニ幽テ（四十九院ノ内ナリシナラム）往来ヲ不通月餘ノ日ヲ積テ並ニ院中ニ死シタリト云（墓所モ不詳）食ヲ與ヘサリシ故ナラム是皆道鏡カ誣オホセツル所為ノ由詔詞解ニ見エタリ（流僧幸甚又主法臣圖典ノ擯居モ此四十九院ノ内カ書記未見當）

四十九院ノ橋

口碑ニ傳云府ヨリ三枝郷ノ四十九院参詣道路ノ橋ハ

川上川ハ架セリト今モ本毋ト中切トノ間ニ仮橋ヲ架メ四十九ノ橋ト院ヲ眉テ云来レリ

見量山 俗ニ御墓山ト云

當郷ノ西ニアリテ坤ハ前原南ハ赤保木東ハ上切中切北ハ吉城郡瓜巣ヘ跨レリ 俗ニ云蕨ノカウサウ洞ヲ斐陀造ノ住居ノ地ナレハ国造洞又其墓所ナレハ御墓山ナルヘシト云レト国府本毋ト陽住跡モ墓所モサタカナラネハ如何押當ナラムカ 郷名三枝佐以久佐ト云ヒ幸草洞ト書シ了當郷ノ古記ニアレハ上ニ云ル如ク山向合草洞ナルヘリ ミハカ山ハ見量山ノ下畧ナラム抑此山頂ヘ初雪フレハ必十五日後ニハ三枝名田川上其外ノ近郷ヘモ雪フリテ宿雪ニナル故見量ノ名有ト之 又此山上ヨリ大野吉城近郷ヲ下瞰シ何處ハ何方當レリト見量ルニモ便ヨキ山ナレハ古来見量山ト云ヘリ

三枝山

上切中切下切村ノ後方ニアリ松茸諸茸モ生出殊更茯苓モサハニ生出ルト云

川上川

斐太後風土記巻六

三枝郷

和名抄云飛騨国大野（於保乃）郡三枝（佐以久佐）郷トアル是ニ下總国千葉郡ニモ加賀国江沼郡ニモ三枝（佐以久佐）郷アリ其両国ノ三枝ノ名義ヲ合考ヘハ詳ナラネト先試ニイハヽ往古国様以下ノ官人欲郡司ニ附タル官人ノ当郷ヲ管督タル人ノ姓ヲ唱ヘシカ後世ニ遺レルナラムカ○姓氏録中左京神別云三枝部連額田部湯坐同祖顕宗天皇ノ御世讌集諸氏人等賜饗醼于時三茎之草生於宮庭採以奉献仍負姓三枝部造又大和国神別云三枝部連額田部湯坐連同祖天津彦根ノ命十四世孫建己呂命後也顕

宗天皇御世諸氏賜饗醼于時宮庭有三茎（サキ）草（クサ）献之因賜姓（サキクサ）
三枝部造、造此等ノ氏人ノ来リテ、當郷ノ吏ヲ掌リヲサメシ、舘ヤウノ物
ノ在シ所故、三枝郷ト云名ノ、遺レルナラムカ、下、總、国ト加賀国ノ三枝郷
ノ名義、キカマホシキヿニ、
三枝（佐以久佐ヲ美衣太ト）訓カヘタルハ古シヘヲ知ラス後世ノ僻言也本土ノヲノミ
習テ下總ト加賀トノヲ如何ハ為ム又大樹枝ヲ三ツニ伐シ故上切
中切下切ナトノ説ハ 前原赤保木ハ何レヲカ伐ケム 何レモ亦蛙ノ見ナラム サキクサハ元ヨリ草之 姓氏録ニハ三茎草
日本紀ニハ福草（サキクサ） 延喜式ニハ瑞草（サキクサ）
和名抄ニハ葛（サキクサ）トカケリ大樹ノ枝トハ可笑

再按前原ニ記

一郷五箇村 前原村 赤保木村 上切村 中切村 下切村

見量山（ミハカリヤマ） 大野吉城二郡ニ跨 前原赤保木上切枝村椿洞瓜巣村ニ跨

俗ニ傳フ此山巓ニ初雪降ハ其日ヨリ十五日ヲ経テ三枝郷奈太郷
其外ノ近村ヘ必雪降テ霜雪（ネユキ）ニナル故見量山（ミハカリヤマ）ト云トソ又俗ニ御墓（ミハカ）
山ナラムト云ル由ハ上切村椿（カラツ）洞（ホラ）ノ條下ニ記シツ

三枝山

上切中切下切村ノ後ニアリ松茸マタ諸ノ茸モ生出殊更茯苓サハニ生テ近
年一ノ宮ノ民喜ハトイヘル男一日ニ馬ニ二駄負ハスルバカリ採シトソ
鳥獸草木ハ隣村ニ殊ナラスト、村長ノ帳記ニアリ 隣村ハ何村ヲ云カ不詳

川上川

川上郷八日町村ヨリ三枝郷前原赤保木上切中切下切ヲ経テ吉城郡村山村ニ入ル
魚 鯎（ハエ） 伊具比（イグヒ） 鰫（チヽカフ チヽコ） 鮔（ゴリ ゴリンコ） 安治米（アヂメ） 鱒（マス） 年魚（アユ） 年ニヨル乄

米 七十二石
稗 八石
大麦 六石
小麦 三斗
大豆 一斗
粟 五升
蕎麦 二斗
荏 一斗
大角豆 一斗
白苧 八斗
桒 五百七十〆目
麻 二〆目
桃 李
大マユ 三〆目
小マユ 十〆目
布 十五反

前原(マヘバラ)村

高五十八石一斗五升六合　縦十六丁　横一丁

山林段別木数不詳

家十三戸

人五十餘人

産物　大繭三〆目　小繭五十〆目　楮　荏一斗　薪　布八尺　雑子ニ　ハエ五十　イハナ百　山椒魚二十

東方　川向下ノ切村ヘ八丁　西方山

南方　八日町村ヘ八丁　北方　見量山　高山ヘ一里半

村名義ハ村ノ後方ニ見量(ミハカリ)山(ヤマ)峙(ソバタ)立(タテ)リ其山ニ登リテ見レハ前(マヘ)原(ハラ)村ト云義ナルベシ

産土神諏訪社
祭神 建御名方富ノ神 八坂刀目ノ命ノ神 上諏訪 后神下諏訪 祭日 氏子
境内三段二畝廿六歩 除地

見量山ハ 禁ナルカウサウ洞ヲ一説ニ斐陀国造ノ住居ノ地ナレハ国造洞ナルヘシト云ヒ山ハ又其墓所ナレハ御墓山ナルヘシトイヘレド當昔ノ国府本毋ノ木府ト地モ隔住跡モ墓所モサダカナラネハ河加アラム抑郷名ヲ三枝佐以久たトスシヨリ幸草カウソウ洞ト書シヿ當郷ノ古記ニアリミハカ山ハ見量山ノ下略ニテ此山顛ハ初雪フレハ必十五日後ニハ三枝灘サイクサ川上其外ノ近郷ヘモ雪フリテ病雪ニナル故見量ノ名有トソ

位山ニ亞テ国ノ中央ニ聳立テ直下ニ三枝川上郷ヲ下瞰ミヲロシシ中山ノ向ニ高山街市其東ニ八賀郷中左ニ古川町其郷中ヲ臨見又四方ニ屏立セル諸峻嶽ヲ眺望スルニ風景絶奇之國府ヨリ某郷ハ何方ニ當リ某嶽ハ何方ニ當レリト測量シ易キ山ナレハ見量山ト古来名ツケタルナラム

米二百石
稗十二石
大麦十石
小麦一石六斗
大豆十石
小豆一石二斗
蕎麦二斗
荏二斗
菜種五升
麻七メ目
楮三メ目
桃 李 楠
大マユ十七メ目
小マユ六十メ目
布五十反タン
草鞋五百足

赤アカ保ボ水キ村

高百四十八石三斗八升五合 縦十町 横三町二十間

山林段別木数不詳

家三十戸

人百七十餘人

産物 咲蘭 三十二メ目 百メ目 楮百メ目 真綿十五把 白木綿十七疋 エ九斗 モメン三十疋 ナタネ二斗 布三十五疋 萁廿メ目 園菜 山トリ廿 キジ十五 ハト廿 ハエ ウクヒ アナメ

東方 下林村ヘ五丁 上切村ヘ八丁 西方山

南方山 北方 上切村ヘ五丁 高山ヘ一里ヨ

村名義ハ此村古来前原村ト組合ナリシカ明治元年組ヲ別レテ二村トナリヲ共前原ヘ行ニ両村ノ間ノ山ノ兀ハゲテ赤土ナル歩危ホキ路ダヲ通ヒシ故ニ赤保木ト云成ム

○雅言集覧ニ山岨ノ危キ路ヲ保伎遅ト云顕季集ニ
ワギモコハ木曽ノホキチニスマハネド ナドアフコトノカタキレナラム
山家集 ヨシノ山ホキヂツタヒニ尋ネ入テ花見シ春ハ一ムカシカモ　西行
夫木抄 花フサニ入目ヅツネニヨカレケル イハノカゲフムホキノカケ路　同
此哥ドモニテ意明ラカナリ

産土神熊野社

祭神須佐之男ノ命　祭日　氏子

境内三町三段八畝十歩　除地

按ニ国中ニ一ノ宮ヨリモ除地ノ廣キハ佐野村ノ日枝ノ社ト高原郷在家村ノ桂木ノ社ト此熊野ト三社ノミ之此社ハ古ノ国府（本母桐生七日町）ノ西ニ当リ道モイト近カリケレハ国造国守等モヲリヽ拝礼シ玉ケム

○出雲ノ風土記ニ云熊野山郡家正南一十八里所謂熊野ノ大神ノ社坐ト見エテ即チ須賀ノ宮處故久麻奴ハ隠野ノ義ニシテ御歌ノ詞ナル都麻碁微ノ由ナルヘシ　古事記傳 古史傳　神名式ニ出雲ノ国意宇ノ郡熊野ニ坐ス神ノ社（名神大）此社ノ須佐之男命ニ坐スコハ出雲ノ国ノ造ガ神賀ノ詞ニ云ク出雲国乃青垣山ノ内尓下津石根尓宮柱太敷立氏高天原尓千木高知坐須伊射那伎乃日真名子加夫呂伎熊野ノ大神櫛御気野命風土記ニモ伊弉奈枳乃麻奈子ニ坐熊野加武呂乃命トアリ

伊邪那岐命ノ御子ハ多カル中ニモ天照大御神月読ノ命須佐之男命ハコトニ御愛子ナレバナリ日ハ日子日女ノ日ニ同シ加夫呂伎トハ大名持命ノ御祖ナル故ニ出雲国ニテコトニ如此申セルナリ

櫛御気野命ハ須佐之男命ノ熊野宮ニ鎮座ノ御霊ノ殊ニ称申セル御名ニトリ平田翁ハ奇御木主ナラムト云ルタリ

○神代紀上巻ニ云素戔嗚尊師其ノ子五十猛ノ神ヲ降ニ到於新

羅國云〻初五十猛神天降之時多將樹種而下然不殖韓地
盡以持歸遂始自筑紫凡大八洲國之内莫不播殖而成青山
焉所謂稱五十猛神為有功之神即紀伊國所在大神是也
○又云素戔嗚尊之子號曰五十猛命妹大屋津姫命次枛津
姫命凡三神亦能分布木種即奉渡於紀伊国也然後素
戔嗚尊居熊成峰而遂入於根国者矣 （記傳ニモ史傳ニモ熊成ハ熊野ナルヘシ那須ヲ切云ハ非ナリ）
○神名式云紀伊国牟婁郡熊野坐神社（名神大）礼彦按ニ是ハ御
父ノ素戔嗚尊ヲ祭リシ也又云名草郡伊太祁曽神社（名神大）大屋津
比賣神社（名神大）都麻都比賣神社（名神大）トアルヲ（礼彦云是ハ須佐之男命ノ三柱ノ御子ナリ）
記傳ニ如此木種ヲ分播シ玉フ神ノ坐故ニ木国トナツケシ也（出雲ト木国ト同通ヘルヿ多シ）

ト見エタリ實語教ニモイヘル如ク山高カ故ニ不貴以有木為尊御
此村ハ見量山ノ（二郡四村ニ跨カリシ）大山アレハ上代ノ人ハ心アリテ神代紀一書（上巻ノ三十五ウ）
ニ素戔嗚尊ハ杉檜柀樟ヲ生フシ人ノ噉フベキハ十木種ヲモ皆播
生シ玉ヒシ御神ニ坐ハ此村ニ齊祭シハ尤ナルヿニソ有ケル然ルニ最初ニハ
青山ナシテ如何バカリ繁茂テアリケム故此熊野大神ヲ諸人擧テ持
イツキ敬ヒ奉リケム然ルニ此山ハ国府ニ近ケレハ自然便ヨロシク人家日
用ノ木品ヲ毎年ニ數多伐出シテ數百年ヲ経ル間ニハ満山諸木ヲ伐
盡シテ終ニハ今眼前見ル如キ草山トハ成ツラム此大神ノ御恩頼ハ深ケレト
国府ニ近キ山ナレハ諸木ヲ伐尽サレタリトモ時ノ勢ニハ堪カタカラム今ハタヽ草山
ナリトモ此大神ヲ祭リテ木ノ繁茂タラム昔ヲ疑フヘカラス方今ハ東

南ノ藪ニイサヽカノ松林ノコレリ譬ハ僧等ノ頭髪ハ剃コボチテ髭鬚
ノミ残レルカ如シ此大神ヲ祭レルハ奈太(ナタ)郷西ノ一色ノ村 是ハ松倉山ノ諸木ノ蕃生ヲ祈祭レル成ヘシ 小八
賀郷坊方村 是ハ郷中ノ山ミノ諸木ノ繁昌ヲ祈祭レルナラム 益田郡小坂郷湯屋村 温湯ニ依テ湯屋トカケ
氏元ハ産土神名ニヨリテ熊野(ユヤ)村ナラム 等ニ祭レリ 何レモ名山アルニ依テ祭レリト見ユ
神名式ニハ出雲国ト紀伊国ハサラニ近江國高嶋郡熊野神社越
中国婦負郡熊野神社アリ○村長カ風土書上帳ニハ此社ノ額
ノ嶌トテ
熊野権現説者紛々矣予未知其孰是神名帳曰、紀伊国牟婁郡熊
野早玉神社、林氏曰今按ニ速玉之男事解之男、伊弉冉尊、是熊野
三所権現也、今姑ク従此説云、夫本朝神国也、而権現ハ上自神代而

下抵今日、大徳赫奕 下畧
延寶庚申仲秋中澣
棟札
飛
霊主天中天迦陵頻伽声 大壇那大梵王大旦那成田三休同三右衛門子孫繁昌祈所
奉再興熊野権現宮社延宝八庚申稔卯月五日 大工江守源五
哀愍衆生者我等今敬礼 勸進者帝釋天王勸進者国分寺権大僧都阿闍梨法印照海
トアリ是国分寺照海カ書ルナルヘシ神祇ノ叓ヲ僧ニ任セシ故カヽル僻叓モ有之
延喜式神名帳ニ紀伊国牟婁郡熊野早玉神社。大須佐之男命ヲ祭ル 。熊野ニ坐神社 名神大 ト両社並ヒテ在ヲ熊野坐神社 ナルコヲ知ラテ前
ナル早玉神社トカド違ヒセルハイト跡畧ナルコナラスヤ両社トモニ本ハ出雲国意
宇郡熊野ヨリ紀伊国ヘ移シ祭リシコ古史傳 十八巻二十一 ヲ見テ知ルヘシ 速玉之男神ノコハ史傳五巻

九十三
母シ

成田三休ノ先祖ハ源義朝ノ臣成田次郎正家ト云テ保元平治ノ合戦ニ出其子成田五郎景重ハ頼朝ノ臣ニテ石橋山又一ノ谷等ノ合戦ニ出其後代々足利代々将軍ニ仕ヘ其後成田左馬蔵政義ハ織田公ニ仕本能寺ニテ討死其子成田三右エ門晴正流浪ノ後ニ高山ヘ来リ金森家ニ仕ヘ其子三右エ門正春主命ニ依テ春慶塗師ト成代々勤之三休父子イカ成縁ニテ赤保木ニ移居セシニヤ村長ハ其末孫ナリトソ

太刀塚　塚高二間　周
刀鋒九五六寸塚上ノ石間ヨリ出空ニ向テ銹（サビ）テ立テリ

里人口碑ニ古シヘ年暦姓名不知労士（ヲチウド）来テ此塚上ニテ自殺セシヲ埋ル塚也其刀鋒ニサハレバ瘧疫病ニ罹ルトソ

青貝渕　村ノ上ニアリ赤保木上切中切下切村ノ用水ヲ此渕ヨリ汐上ルトソ青貝多クスム故名ニオヒシトナリ

米四百二十石
稗三十二石
大麦十六石
小麦二石
大豆十石
小豆一石六斗
蕎麦六斗
荏二斗
菜種二斗
桑八百三十〆目
麻十七〆目
楮三〆目
桃李楢
大マユ二十三〆目
小マユ八十匁目
布百四十反
莚四百束

上切村（カミキリ）　枝村　幸草洞（カウサウホラ）　縦七町二十間　横四丁三十間

高二百九十七石九斗六升七合

山林段別木数不詳

家四十戸

人百九十餘人

産物　大繭三十〆目　小繭百十〆目　楮五十〆目　エ二斗　菜種二斗　野菜　藍八〆目　薪百六十間　千帚九十本　雪沓（ズンベシツ）四十足　ワラ細工種々

東方　中切村ヘ八丁

西方　赤保木村ヘ三丁　高山一里

南方　川

北方　洞越瓜巣村ヘ一里

村名義ヲ按ニ　中切村ノ大樹ノ枝ヲ三ツ伐シニ依テ上切中切下切ノ村名ニ成ヌト云ハ愚民ト等エノ三枝郷（サイクサドエ）ヲ蒸ヲ（シラス）ノ字ニ泥ミノ押當名説ニテ採ダラス　是ハ日本紀巻七稚足彦（ワカタラシヒコノ）天皇成務天皇五年秋九月令諸国以国郡立造長縣邑　ハ上代ニ人ヲ分テ荊棘ヲ伐辟キ田畑ヲ墾開シニ是ハ上村ノ切開是ハ中是ハ下ト三段ニ分チシ名ナルヘシ

置ニ稲置並賜ニ楯矛ヲ以為レ表則隔ニ山河ヲ而分ニ国縣ヲ随ニ阡陌ニ以定ニ邑里ヲ トアルヲ見テサトルヘシ此御代ニ勅命ヲ下玉ヒ阡陌ニ随テ邑里ヲ定メ玉ヘバ元ヨリ在シ田畑ニ又墾添ノ新田モ數多切開キ玉ヒケムヿ押テ知ルヘシ其時邑里ノ境界ヲ定メ玉フニモ是マテハ上村ノ切添故上切村是處ヨリ其處マテノ切添ハ中切ノ村其処ヨリ彼処マテノ切添ハ本田トモニ下切ノ村ト邑里田畑ノ境界ヲ判然ニ定メ玉ヒテ郡村ヲ安穏ニ治玉ヒシ成ヘシ 是歳大八椅ノ命ヲ斐陀国造ニナシ玉ヘリ

又益田郡阿多野郷ノ上切組 古称青屋組 ノ中切組 古称見坐組 ノ下切組 古称大西組小屋名等 モ是ニ同シカルヘシ 三枝郷

三切ノ村民ハ己カ住村名ニノミヨリテ阿多野ノ三切ノ名ヲシラス想像ナキハ井蛙ノ見ナラズヤ

然テ其後數百年ヲ経テ三枝部連来テ此郷ヲ預リ管領後其人ノ姓ノ郷名ニ成シニヤアラム

産土神白山社

祭神

境内六段一畝十五歩

三才図會 越前国 白山祭神	
金劔宮	瓊ニ杵尊
大御前	伊弉諾冊
別宮	忍穂耳尊
越南知	大己貴命
加宝王子	火々出見尊

白山三社

越前 上 別山 伊弉諾尊

加賀 中 御前 菊理姫命

同 下 奥院 伊弉冊尊

延喜神名式白山比咩神社

三社

右九柱ヲ齋祭シル成ヘシ村長ノ書上帳ニハ祭神白山姫命トアレト其ハ加賀国石川郡ノ白山比咩神ノ御事ニテ此村ニイカ成縁有テ祭レルニカ 筆ニミマカセテ書アケタルニヤ

三枝四十九院ノ一院タルヘシ然レハ日本紀持統天皇新羅沙門行心ヲ徙サレ飛騨国伽藍トアル其塔頭ナルヘシ下切ノ伽藍跡ノ頭書可考合

當堅寺跡

村長風土書上帳云當堅寺ノ宗旨ハ天台宗ニテ美濃国郡上郡長瀧寺末ト申傳候何頃廃寺ニ成シヤ聢ト分リ不申候 ○ 礼彦按ニ此説

古来傳記ニヨク合リ長瀧寺ハ越前国平泉寺ノ配下ニテ国中ノ村々数多檀家アリテ長滝ノ僧徒不断来リテ回檀勧化説法ノ序ニ本山ナル越前ノ白山ノ神ヲミヲ勧請シテヨト勧メシニ依テ連々ニ国中ニ白山社ノ数多ニ成ヌルトソ既ニ国史著明水無ノ国都神社ノ名ハ失テ白山社トノミ称ルホトノ世ニ成ヌレハ当昔村々ニテ古社ニ合祭タルガ社殿ヲカシタル其元来ノ神ノ御名ハ傳ハラテ希カリシ神ノ御名ノミ後世ニ傳ハルモ多カルヘシ 豈歎カシキ事ニ非スヤ 天正十三年金森侯越前大野城ヨリ来テ終ニ国中ヲ平治シ玉ヒツレハ猶更越前ノ白山神ヲ村々ニテ斎祭リケム事思ヒ合スヘシ

随縁敬寺 東本願寺宗 高山照蓮寺末 明応八己未年開基

本尊阿弥陀仏

境内屋敷五畝十歩 除地

再按前原ニ記

横田 飛驒志ニハ本土ノ田畠ノ字或ハ村ノ小名等ニモ未知トアレトモ

風土書上帳 今般ニ所上 ニ上切村字ウツボ小字横田ト云アリ狂言靭猿ノ章句ニ ヒダノ横田ノ玉苗ヲシヨボリ シヨボリト植テユクト是ナルヘシ

櫻老樹 圍九三丈

又曰中切村三枝ノ樹ニ カニカクニ三枝ノ字ニノミ泥ミテ云リ 見樹ノ枝三ツヨリタメカラバイカニセム 立及ヒタル老大木ナリ

国造洞 上切村ヨリ北方広瀬村ヘ越ル洞也

土人口碑ニハ往古国造ノ住玉ヒシ跡也トモ又卒玉ヒテ棺ヲ蔵メシ墳墓ノ跡ヽ故ニ其上ノ山ヲ御墓山ト云ト云伝ヘリ ○ 礼彦按ニ国造ノ初ハ志賀高穴穂朝ノ 成務天皇 御世ニ大八椅ノ命ヲ国造ニ定賜タルガ初ニテ 旧事紀国造本紀ト日本紀稚足彦ノ天皇五年ト見合スヘシ 其後明宮 応神天皇 御世ニ百済ヨリ論語ト千

字文ヲ貢上シ年ヨリ一百五十年モ昔ニテ文字ヲ知レル人ハナクマシテ国造（クニノミヤツコ）ノ字ノ音ヲ人ノ知ルヘケンヤ其後国ノ造ハ數代ボタラメ𪜈字音モテ異国人ノ名マタハ仏菩薩ノ名ナラテハ宰（ミコトモチ）ノ名ヲ稱ル世ニ非ス国造ノ国府ヲ去テ山ノ洞中ニ住レシ所以モ有マシク思ハレ又墓ノ残レルニモアラネハ不審ソ思ハル、国造洞ハ楮洞（カウゾボラ）北ヲ塞キ南ノ辟ケシ洞ナレハ楮ハ定メテ蕃殖スヘシ御墓山（ミハカヤマ）ハ見量山（ミハカリ）州山ニ初雪見エレハ半月ヘテ奈太郷其外ヘ宿雪降ト云古傳ニナラムト云説アリ能考フヘシ

石灰石

楮洞（カウソ）ヨリ出ル近村ノ民割取テ雪後雪車（ソリ）モテ牽テ村々ヘ運送リテ打砕キ竈ニテ焼テ石炭トシテ田畑ノ肥ニ用

米　八百三十二石
稗　三十一石ヨ
大麦　三十六石
小麦　七石六斗
大豆　十二石
小豆　二石六斗
粟　八斗
蕎麦　二石七斗
黍　四斗
胡麻　二斗
荏　一石
菜種　八斗
桼　四千七十メ目
麻　小九メ目
楮　三メ目
桃　梨　楢
大工五十メ目
小工二百七十メ目
布　三十六尺
延　百束

中切村（ナカキリ）　支村　幸草洞（カウサウボウ）

高三百十石六斗八升五合　縦十町　横三町

山林段別木數不詳

家四十八戸

人二百四十四人

産物　大小繭五十メ目　二百卅メ目　楮三十メ目　荏一石　野菜　菜種八斗　布百廿反　藍廿メ目　薪二百五十間　ヤドリ五　キシ三　ハト十五　半夏二斤　ワラ細工種々　鱒十六本　ハエ　ウグヒ

東方　川　　西方　上切村ヘ六丁

南方　川向木曲村ヘ六丁　　北方　下切村ヘ八丁　高山一里

村ノ名義ハ上切村ノ名義ニ記セシ如ク上古郡縣ヲ分阡陌ニ随テ邑里ヲ定メ田畑ヲ切開カセ玉ヒシ御世其處ニテハ上村ノ切開キ故上切ト云

此處ヨリ彼處マテハ此中村ノ切間キナレハ中切（ナカキリ）トイヒシナルヘシ此中切テフ郷村名ハサハニアル名之下原郷中切村馬瀬郷中切村阿多野郷中切組甲組ナト云白川郷中切組御母衣組美濃国恵那郡加子母中切同国武藝（ムゲ）郡郡金山中切何レモ大木ノ三枝ニハカヽハラヌ村々ナリ等（ナド）アリ

産土神若宮

祭神　譽田天皇　大鷦鷯天皇　両御尊霊　祭日　氏子

境内四段四畝歩　除地

除地帳ニハタヽ若宮トノミ記タレト飛州志ニ若宮八幡宮ト記セシハ應神天皇仁徳天皇ヲ拝祭レル成ヘシ古ヘノ国府ニ近キ村ナレハ国ノ守ノ祭ラセラレシニヤ此大御神ヲイツキマツレル心バヘハ石浦村ニ同シカルヘシ彼若宮八幡宮ノ條下合見ヘシ

王墳

飛州志云三枝郷中切村ニアリ里人口碑ニ傳古シヘ京家尊貴ノ人此国ニテ終給フ其墳墓也凡テ此地ニ古墳多シ年代未由未詳此郷ヲ三枝トイヒ村ヲ上切中切下切トイヘルハ往古此塚上ニ一株三枝ノ大木有シヲ民三人是ヲ伐シニ伐株ヨリ血流レ塚上頻ニ鳴動セシカハ三民大ニ恐怖シ代株枝葉悉ク塚ニ収メテソレヨリ王ノ墳ト崇メタリ三人ノ民住居ノ地ヲ以此郷村ノ号アリトイヘリ○上切村風土書上帳云中切村字ヒヤケ小字王垣内（ワウカイト）湯桶訓ニテハイカヽ王垣内（ミコカイト）ニアラネハ犬垣内ナラムカ王墳ニ大樹アリ王居樹（ワウヰノキ）是ハ有マシキ名ナリ天狗カ鳥ナラデハ樹ニハ居マシ大榎（オホエノキ）ノ訛ニハアラジカト云ニ此樹三枝繁茂ニシタカヒ中昔ヨリ三枝（ミエダ）ト轉唱セリト有何レモ鄙俗ノ傳ナレ圧後考ノ為ニ記置ク○桜ニ諸王配流ノコトハ国史ニ他国ハ往々見エタレ圧飛騨国ヘトノコトハ不見

稱德天皇神護景雲二年山階寺僧基眞ヲ飛驒国ニ擯ラ
レシヿモ諸臣ヲ貶シテ飛驒権守又ハ権掾等ニ命セラレシヿハアリ
尊貴人ト其人等ナラハカ續紀二十七巻ニ稱德天皇天平神護
二年ニ百濟王利善ヲ飛驒守ニ任レシカ任満テ京ニ帰リシコトハミエ
ネバ王トイヘルハ此百濟王利善ナドノヿニヤ国府ニ近キ中切村ナレハ
其王墓ニハアラヌカ猶能考フヘキヿ也

四十九ノ渕

四十九ノ橋　灘郷本母村ヘ往渡

米　七百二十八石
稗　六十石
大麦　六十石
小麦　十石
大豆　二十石
小豆　二石八斗
粟　二石
蕎麦　六石
黍　八斗
胡麻　一斗
荏　一石五斗
菜種　一石五斗
桑　五千廿八メ目
麻　三十六メ目
楮　五メ目
梅　桃　李　杏　梨　栗
栗　楢
大工　百メ目
小工　三百五十メ目
莚　六百束

下切村（シモキリ）　枝村　向日（ムカヒ）　保木（ホキ）　逆巻（サカマキ）　茂嶋（モジマ）

高六百六石四斗四升四合

縦　十六丁　横　四町

山林

家六十九戸

人三百七十餘人

産物　蚕繭　眞ワタ五千把　百メ目　二百五十メ目　木綿三十反　荏一石八斗　楮二百メ目　布百弐十反　菜種一石五斗　野菜　ワラ細工　藍三十メ目　鱒十本　鯈（ウグヒ）

東方　山　　西方　山

南方　山中切村ヘ八丁　　北方　村山村ヘ十町　高山一里八丁

村ノ名義ハ上切中切ノ條下ニ記セシ如ク彼処ヨリ此処ニテハ此下村（シモムラ）ニテ切開キシ
田（タ）陸田（ハタ）ナレハ下切村ト名付シナルヘシ　上中下（カミナカシモ）ノ村ニテ切開シ田畑故上切中切下切ト云ヘシ　和名抄ニ武

藏国ト陸奥国ニ賀美(カミ)ノ郡アリ上ノ意ナリ 郷名モ諸国ニアマタアリ同上 伊豆国
石見国阿波国ニ那賀郡アリ中ノ意ナリ 武藏国常陸国讃岐筑前日向
等ニハ那珂郡アリ是亦中ノ意之 郷名ニモ亦アマタアリ大和河内伊勢越前播广
但馬国等ニ資母(シモ)ノ郷アリ下ノ意ナリ 是上(カミ)中(ナカ)下(シモ)ノ名ヲ国ニ云ノミ

産土神稲荷社
祭神須佐之男命 宇賀御魂神 日本紀倉稲魂又保食神
大市比賣命
境内三段歩 除地　祭日　氏子

同諏訪社
祭神 建御名方富神 八坂刀賣命神
境内二段四畝十二歩 除地　祭日　氏子

同石動神社
祭神伊須流支比古神
境内二段廿四歩 除地　祭日　氏子

同神明宮
祭神天照大御神
境内九畝二歩 除地　祭日　氏子

同天王社
祭神須佐之男命
境内四畝一歩 除地　祭日　氏子

伽藍跡　會喜庵(エキアン) ミヤブアンノ字ノコレリ
境内六畝廿三歩 除地
飛州志云下切村伽藍跡未由未詳トアリ可惜(アタラ) 王土ヲ除地ニスルハ甚可惜
支ナルカモ

日本紀 持統天皇 新羅沙門行心与大津皇子謀反徒行心於飛騨国伽藍トアルハ是ナルヘシ相傳云古シヘ三枝郷ニ四十九院在シト云ハ其塔頭ナラム 又上切ノ當堅寺トヱルハ其一院ナルヘシ四十九院ハ参詣ノ道ノ橋名ニテノミノコリテ今世ハ下ヲ略テ四十九ノ橋ト云リ

度鷹橋

引渡橋

逆巻用水高堰

斐太後風土記巻七

川上郷　　富田礼彦謹撰

○和名抄云飛騨ノ国大野郡大原ノ郷トアリ（四郷ノ一也）今世川上郷大原村アリ訛テオツパラ村ト云是ハ京畿ヨリ近江美濃ヲ経テ斐太ニ入道口（ミチノクチ）ノ村郷名ト成シナルヘシ今世ノ川上郷小鳥郷白川郷古シヘハコノ大原郷ノ内ナラムトツ思ハルアル国繪圖ニ大原ヲ郡名トセルハ大野郡大原郷ト書タルヲ見混（ミマガヘ）タルニヤアラム出雲国ニハ大原郡大原郷アルヿ和名抄ニ見ユ其餘ハ出羽近江因幡播磨美作長門等ノ国々ニモ大原郷アリミナ於保波良トイフヨシ（大原郷ノ内ヲ分テ川上荘徳永郷馬瀬郷トセシ年代今ハクハシク知レカタシ）

○川上郷ト云ハ名田郷冬頭村三枝郷等ヨリハ川上ニ住村ニナレハ川上郷ト云ルナルヘシ

○徳永郷（有惣　中野　小鳥　夏舞）川上郷之内今ノ有巣組村（三ケ）ト小鳥郷トヲ合セテ

中昔ハ德永郷ト唱ヘシト見ユ有巣中野等ノ條下ニ記スヘシ（是ハ南朝ノ浪士来テ任シ家名ヨリ出ツラム）

○川上莊　今ノ川上郷ヲ（下本村以北）文安（下ノ切西蓮寺八日町秋声寺本尊後書）文明ノ頃ハ川上莊トイヒ明應ノ頃ハ今ノ如ク川上郷ト唱シト見ユ（牧ケ洞了德寺古券札合考フヘシ）

○（川上郷内二村ヲ中昔）美濃国郡上郡満世郷（大原村　楢谷村）ト云シヿ長享延德中ノ二寺本尊裡書ニ記セリ前ニ記セル如ク大原ハ斐太ノ咽喉ニテ既ニ郷名ニ成郡名ニモ混ヒタルホトノ村ニ應仁ノ頃国司ノ号令行届カテ少時美濃国士ニ楢谷大原ヨリ馬瀬郷ヲ奪ハレテ有ツルヲ永正十五戊寅年益田郷櫻洞ノ城主三木直頼ノ働ニテ取返シタル成ヘシ（楢谷大原ハ馬瀬川ノ水源九里ニシアレハ馬瀬郷ノ内ニ後ヘ入レハ理ナキニシモアラス）

○白山ノ社　長瀧寺旦家　本願寺宗

川上郷ハ残ラズ往昔ハ天台宗ナリシカ国司姉小路ノ命モ有シニヤ應仁後ニ

俄ニ本願寺宗ニ變シヨシ也元是川上郷中以西ハミナ美濃国郡上郡長瀧寺ノ檀家ニテ宿坊モ末寺モ當郷ニモ數多有テ僧徒不絶来テ説法且本山越前国平泉寺ノ鎮守白山神社ヲモ勧メシ故村々ニテ越前ノ白山ノ（三社ノ）神ヲ祭リシトヿ（上代ヨリ村々ニ祭レル△神ニ合祀シナルヘシ）其ヲ（右ハ奈良朝代ノ頃ニヤ有ツラム其後弘仁年中越前加賀ヲ分国ト成其又後ニ延喜式撰上ク）知ラテ方今ノ村長等皆々高山ノ筆工ニ任セテ加賀国ノ白山比咩ノ神ト記セルハ誤ナラスヤ（社人等モ白山宮トイヘハ今偕ニ加賀ノ白山ノ名高キニ依テ然思ヒタラム　古史傳六巻下三菊理比咩神ノ條下ヲ見テ知ルヘシ）

越前国ナルハ然レ圧延喜式撰上後ニ勧請セシハ白山比咩神ニ御座ヘシ思違フヿナカレ

△白山三社ハ
上 伊弉諾尊
中 菊理媛命
下 伊弉冉尊

三才図會
越前国
白山社

金劔宮	瓊瓊杵尊
本宮 大御前	伊弉諾尊
別宮	忍穂耳尊
越南知	大己貴命
加賓王子	火火出見尊

白山三社

越前 上	別山	伊弉諾尊
加賀 中	御前	菊理媛命
同 下	奥院	伊弉冉尊

延喜神名式白山比咩神社

百五柱

川上郷十七箇村ノ内
下林村　山田村　下之切村　新宮村　八日町村
三日町村　牧ヶ洞村　藤瀬村　福寄村　三ッ各村
十ヶ村　御年貢　三分二金納　三分一米納
下本村　坂　村　有巣村　二俣村
中野村　楢谷村　大原村
七ヶ村　同　皆金納

高二千八百五十三石七斗四升四合
家八百七十九戸
人四千六百八十餘人

薪　高山町日用ノ薪ハ多クハ川上郷ノ内三ッ谷　福寄　藤瀬
牧ヶ洞　三日町　八日町　三枚郷ノ内　前原村等ヨリ冬ニナリテ雪ヲ
待雪車ニ積テ牽出竪横六尺一間ニ積テ賣渡スヲ棚薪ト
云ヘリ又雪車ニテモ雪アラヌ時脊負テモ賣アリクヲ小賣ト云

川上川
川上郷中野村龍馬嶺ヨリ流出郷中　楢谷大原二村ヘハカヽラス　ヲ北流三枚郷ニ至ル
魚　鯈　伊具比　鯖　䱇　安治米　鱒　雜魚
白木挊　郷中村々年々餘業
国中拂　椀　小間物　楾木　棧　榪　角　板子　挽板　欄額
椽　諸品　他国出　鞘木　針木　諸品

大野郡川上郷村々にて
薪を橇に積て高山町へ
運ぶ力強き男ハ一人にて
橇二挺に薪まき八束の数を
つなぎてひくなり 大ハ加んと小ハ加んと 廿本の束也
橇長三尺ヨリ四尺 幅三尺ヨリ二尺五寸 大小アリ

雪車運薪

古河梅石

初雪のふるまひやゝ
はるみの御たきゞと
それより降るらん
白椿運参
雪車を引を見て
きのふひくるまの
しや持托たへやくる
はしとれふるき代
いくとり御布
孔石

米　五百八十石
稗　二十石
大麦　六十八石四斗
小麦　三十石四斗
大豆　二十四石八斗
小豆　二石三斗
蕎麦　一石一斗
紙　千三百メ目
麻　十一メ
李
大豆　五十メ目
小豆　三百三メ五十目
布　百一反
草鞋　千十足

○下林村（シモハヤシ）

高三百四十一石七合　縦廿二町　横三町

山林段別木數不詳

家七十五戸

人四百餘人

産物　繭（大 七十メ目　小 百八十メ目）　楮 十メ目　荏 三石五斗　野菜　ナタネ 二斗　木綿 五十反　藍 五十メ目　布 七十反　茸　マス 六本　ハエ 三百　ウグヒ 千百　廿ワ五千貝　青一斗

東方　下岡本村ヘ坂越廿八丁

西方　川向赤保木村ヘ五丁

南方　山田村ヘ八丁

北方　山　高山一里

村名義ハ里人口碑ニツタヘタルヤウ川上庄ノ嶮後（イヤハテ）ナル村ニテ其下方ニ樫（ソスキ）ノ林

アリシ故川上ナル村ヨリ下林ト稱タリシト之和名抄ニ山城国葛野ノ郡

下林（シモツハヤシ）之毛都波也之郷アリ都文字ノソヒクル方古雅ナリ

産土神白山社　祭日　氏子

祭神越前白山神三社大神

境内一段五畝十八歩　除地

村長書上帳ニハ祭神菊理媛神一柱記タリ　白山三社前ニ記　髙山[illegible]ノ所為ナルヘシ

字新田
同　伊太祁曽神　祭日　氏子

引渡橋

青貝渕　渕底ノ砂石ハミナ青貝ノ如ク光ルトゾ

米 六百八十石
稗 三十二石
大麦 三十一石二斗
小麦 十九石二斗
大豆 十六石四斗
小豆 二石三斗
荏 八斗五升
菜 千二百メ目
麻 九メ目
桃 李 栗
大豆 五十四メ目
小豆 百六十メ目
布 百二十反
陶器 價金八十円
草鞋 千足

○山田（ヤマダ）村

高四百四石二合　縦十六町 横十三町

山林段別木數不詳

家七十二戸

人三百十餘人

産物　大繭 五千四百メ目　小繭 三百十メ目　楮 二メ目　荏八斗　野菜　菜タネ五斗　陶器　藍十二メ目　價金八十圓　蘿蔔（タイコン）　炭百束メ目

東方　上岡本村ヘ長嶺越廿三丁　西方　川

南方　下之切村ヘ五町　北方　下林村ヘ八丁　髙山三十丁ヨ

村名義ハ字ノマヽナルヘシ山田ハ諸国ニアマタアル郡郷地名ナレハ記スニイトマアラズ

産土神白山社　白山三社前ニ記

祭神越前白山神　祭日　氏子

境内二段三畝十歩

浄覚敎寺　東本願寺宗 高山照蓮寺末

本尊阿弥陀如来　文明十八丙子年開基

境内屋敷一畝十八歩　元禄七甲戌年検地名受道場九郎左エ門 其後除地今ノ寺号ヲ唱ヘ年月不詳

福成敎寺

本尊阿弥陀如来　前同 大永三癸未年開基

境内屋敷四畝廿三歩　前同検地名受道場又兵衛 其後(除地)前同

陶處(セト) 明和年中ヨリ　擂鉢　𡋽鉢　茶碗　天目　徳理　土瓶　水瓶　植木鉢

三吉殿屋敷跡　陶處ノ東ニ在三木家ノ由ナレトモ家名年暦不詳

麝香谷清水　麝香ノ氣アリテ清水ノ味甚佳

陣ガ洞　村東ニ在永禄元戊午年三木光頼廣瀬宗域ト山田紀伊守ヲ責セシタリシ時ノ陣所ノ跡ナラム

青貝渕　川上川ニアリ青貝多アリ

米 四百八十石
稗 四十八石四斗
大麦 七十六石八斗
小麦 十六石八斗
大豆 二十八石八斗
小豆 三石
蕎麦 一石
荏 八斗
楮 千三百〆目
麻 十二〆目
梅 桃 杏 栗
大ミ 七十〆目
小ミ 百五十三〆目
布 百十反

○新宮(シンバウ)村　枝村 清水洞(シミツボウ) 内垣内(ウチカイト)

高三百二十七石六斗五升四合　縦十八町 横十七町

山林段別木數不詳

家百六戸

人五百十餘人

産物　大繭 七十〆目　小繭 百廿二〆目　楮 五十〆目　荏八斗　野菜　挽板四十五間　茸廿〆目ヨ　松脂三〆目　井戸縄廿節 ワラ細工　山トリ四 キシ五 ハト十　マス八本 ハエ ウグヒ

東方 上岡本村ヘ坂越廿八九丁

西方 八日町 前原村ヘ橋ヲ渡八丁

南方 三日町村ヘ十丁

北方 下之切村ヘ一五丁

高山ヘ一里ヨ

村名義ハ村長書上帳ニ口碑ニツタフ氏神白山本宮ハ村ヨリ一里南ノ山上ニ在新宮ハ村ノ中央ニ在故△自然村名ニ負ヒシト也

古ハ山田村ノ内カ不詳氏神白山社ハ中古熊野三社内新宮ヲ合祭メ後新宮トノミ称ス△

三郡神社考ニ委ク記セリ本文宜削去

新宮
産土神白山社

祭神伊邪那岐命
伊邪那美命
豫母洋事解之男命

祭日八月十日　氏子新宮村不残

境内八段廿三歩　境外　並除地

高一石四斗一升三合　此田段別五畝廿一歩

此社ニ事解之男神ヲ祭リタルハ甚イフカシキ事之後ニ言ヘシ神代紀一書云伊弉諾ノ尊至伊弉冊尊所在處云々盟之曰族離又曰不負於族乃所唾之神號曰速玉之男次掃之神號泉津事解之男凡二神矣

本宮跡　字古岳山　新宮村ヨリ道法一里

古シヘ境内八町歩ノ社ニテ其後松倉城主三木家祈願所トテ松倉城ヨリ参詣ノ古道今ニ存在ト也

加不加山内　字三本杉

本宮神木三本杉内ニ本享保年間伐残一本目通ニ丈廻餘

コリカケ堂　本宮祭礼ノ節社人潔齋場

棟札写

元聖天皇御宇養老元丁巳年九月九日

奉再建白山新宮古岳山本宮耶智宮

甚シキ哉社人村民ノ巧黠奸僧ニ勝レリト謂ツベシ是全高山ノ東山ナル白山ヨリハ甚古シト云ン為ノ作言也元聖ト稱奉ル天皇ハ本朝ニハマシヽマサス曆朝ノ御諡ハ此養老元年ヨリハ六十餘年後延曆ノ初ニ淡海ノ御船奉勅撰也ナト有コヲ不知御代ニマシヽマス内ヨリ諡ヲ稱奉ルコトヤ思ヒテ書タリケム可笑

○越前誌云白山別當平泉寺勝山ノ東南ニ在養老六年元正天皇詔アリテ白山ノ絶頂ニ三社ノ神殿ヲ造リ麓ニ中宮ヲ造テ僧房ヲ置平泉寺ト号ストアリ是以棟札ノ偽ナルコヲ知ヘシサテ棟札ヲ考ルニ本宮新宮那智宮トアルハ往古ハ熊野神ヲ祭リタルニ其後越前白山神ヲ合セ祭タルナラム歟○南紀名勝志ニ熊野村新宮ノ庄ニ上熊野村中熊野村下熊野村アリ今新宮村ト云モ元ハ熊野村ノ内ナレ圧新宮大神鎮座スユヘニ所ノ名トセルカ云〻總テ牟婁一郡ヲ熊野ト云ハ新宮熊野村ニ因テ云ト見エ○古史傳十八ノ廿ウ云新宮トハ速玉神社ヲ申ス此ハ速玉之男ノ神ト申シテ伊邪那岐大神豫母都国ニ往坐シ伊邪那美ノ大神ノ彼處ニ坐ス醜キ穢キ御有状ヲ御覽シテ族離レムト詔ヒ唾玉フ時ニ生坐ル神ニテ此神ト豫母都事解之男ノ神トハ御夫婦ノ御親ノ絶ル方ニ就テ生坐ル之云〻○延宝庚申年、國分寺照海ノ書タル、赤保木村ノ熊野ノ社ノ額ニハ神名帳曰、紀伊国牟婁郡、熊野早玉ノ神社、林氏曰今桜速玉之男、事解之男、伊弉冉尊、是熊野ノ三所權現也云〻○三才図會云熊野權現在二牟婁郡一社領千石云〻祭神三座伊弉冉尊事解男ノ神速玉ノ男ノ神末社凡二百卄五社本宮阿弥陀新宮薬師那智観音云ミトアリ桜ニ越前加賀白山ニハ事解之男神ヲ祭レル事諸書ニ見エス祭神トイヒ棟札トイヒ村名トイヒ往古ハ熊野神ヲ

祭リタリシニ其後長瀧寺ノ僧等ニ勸メラレテ白山神ヲ祭リシニコソアラメ（猶末ニ記スヘシ）

高雄山神宮寺跡

飛州志云新宮村新宮ノ東ニアリ里人云往古新宮白山神祠護衛ノ寺也（長瀧寺ノ僧ホ造ツルナラム山城国神護寺ノ山寺号ニ似セタルハイカヽ）廃絶年代未詳今世モ此地土底ヨリ伽藍ノ古礎或ハ梵字ヲ刻メル五輪石ヲ堀出コト有又田畠ノ字（アザナ）ニモ御幣田烏帽子田鐘樓田長老田ト唱フル所アリ

社藏三木休庵所用鎗（穂七寸余 康道作）

此鎗驗者、松倉城主自綱ヨリ持物、依時不祥、今有予家新宮者公ノ崇敬靈神也、故為當社寶物、奉寄進者也、

延寶五丁巳秋九月吉日　土川氏方敬白（家系人物通称不詳）

畑佐城跡

（畑佐ノ名義ハ田狭（ハタサ）カ陸田浅カ又ハ畠麻（ハタサ）ノ義カ蓋新宮村ノ旧名カ里人云八日町ノ耕地ノ字ニ畑佐ト云ル処アリトソ）

飛州志云古山田紀伊守其後川上縫殿介居之川上ハ天正十七年小島合戦ニ死○按ニ山田紀伊守某ハ天文弘治ノ頃川上庄三枝郷ノ領主タリシカ永禄元戊午年益田郡櫻洞城主三木飛騨守良頼（後改自綱）息光頼ト吉城郡廣瀬郷高堂城主廣瀬山城守宗域（ムネクニ）トニ責亡サレヌ○川上縫殿介ハ高原ノ江馬家老タリシカ何年ヨリ此城ニ住ケム不詳天正十壬午年荒城八日町ニテ主将江馬輝盛小島時光ニ討レケル時敗レテ討死セシ江馬家十三騎ノ内ノ一騎タリ

畑佐渕　右城山ノ麓ニアリ

新宮神社　新宮ノ上古ノ祭神ハ出雲国ト紀伊国ノ熊野宮須佐之男神ヲ齋祭リテ廣山内ノ諸木ノ繁茂ヲ祈タリケム出雲ノ国ノ造カ神賀詞ニ伊射那伎乃日真名子加夫呂伎熊野ノ大神櫛御気野命 此櫛御気野ノ命ハ須佐之男ノ命ヲ熊野ノ宮ニ鎮坐ス御霊ヲ称申セル御名ニトソ平田翁ハ奇御木ノ命ナラムトイワレタリ 神代紀上巻ニモ素戔嗚尊ハ木種ノ丁ニ甚御心ヲ用玉ヒ韓地ニハウヱズ大八洲ノ国内ニ植タマハス地ナリ青山ナシ玉ヘル有功神ノ御父神ニマセハ此村ニモ古ヘ祭テ松倉ノ観音平ノ裏山ノ大山ヲ青山ナシ玉ヘル恩頼ヲ仰キ奉リシ成ヘシ神名式ニ紀伊国牟婁郡ニ熊野早玉神社ト熊野ニ坐神社 是ソ須佐之男神ニマス トノ差別アル事ヲハ知ラテ何レモ熊野神ト思ヒテ祭タリケムヲ中昔ニ成テ平家盛ノ頃専熊野三社ヲイツカレケルヲ見テ飛騨三郎左エ門景綱飛騨守景家等熊野ハ三社ゾトテ此村ニモ本宮新宮那智宮ヲ建タリケムヲ遥後ニ長滝寺僧白山神ヲ合祭タリシヲ其後ハ社人モ村民モタヾ白山ノ新宮トノミ思ヘルナルヘシ

米 二百八十石
稗 六石
大麦 四十石
小麦 十六石
大豆 十二石
小豆 一石六斗
粟 八石
蕎麦 八斗
荏 八斗
素 八百メ目
麻 五メ目
桃
大マユ 廿カメ目
小マユ 八十メ目
布 六十反
縄 百束

下之切村

高百九十六石六斗六升　縦十六丁　横六丁

山林段別木數不詳

家四十八戸

人二百六十餘人

産物　大繭 十メ目　小繭 四十メ目　白モメン 四十八反　楮 三十メ目　モメンシベ 十反　荏 一石五斗　野菜　菜タネ 二斗　布 四十八反　藍 三メ目　油 二石四斗ヨ　茸 廿メ目

東方山　西方川

南方新宮村ヘ五丁　北方山田村ヘ五丁　高山一里

村名義ハ里人口碑ニ古シヘ川上荘ノ庄屋ハ新宮村ニ在シカ其村ノ内ニテ下ノ限ト云意ニテ下乃幾里ト稱シヨシ 切ハ借字 言傳ヘタリ

弥勒堂跡　石像

古シヘ堂并本尊モアリシ由廃絶年代不詳其後石像ヲ立シヨシ也

飛州志ニ伽藍跡トアルモ是ナルヘシ

境内三畝十二歩　除地

右地内

産土神白山社

祭神越前白山神　三社大神

此祭神ヲ加賀ノ白山比咩神ト書リ　筆工ノ意ナルヘシ

西蓮教寺　東本願寺宗高山照蓮寺末

本尊阿弥陀如来　天文五丙申年開基

境内屋敷二畝十二歩　除地

元禄七甲戌年検地名受道場甚右エ門
其後今ノ寺号ヲ唱ル年月詳ナラス

米　四百八石
稗　廿四石四斗
大麦　三十六石四斗
小麦　二石二斗
大豆　十六石四斗
小豆　一石七斗
蕎麦　五斗
荏　四斗
菜種　一斗
黍
桒　千百〆目
麻　三〆目
楮　四〆目
梅　桃　李　杏　栗
大藺　二十〆目
小藺　八十〆目
布　六十五反
淑通　二百

八日町村（ヤウカマチ）

高二百六十八石九斗六升六合　縦十町横四丁

山林反別木数不詳

家六十戸

人二百五十餘人

産物　大藺五十〆目　小藺八十〆目　荏三斗　楮一〆五百目　布六十五反　野菜　菜タネ一斗　薪　カチ炭二百〆目　淑トホシ二百五十　手箒百本

東方　新宮村ヘ橋渡八丁　西方　山

南方　山三日町村、牧口、八丁　北方　前原村、八丁　高山ヘ一里廿三丁

村名義ハ里人ノ言傳ヘニ天正年中三木家松倉在城ノ頃毎月八ノ日ニ八
城内ノ夫役ヲ勤メケルカ僅ナル町形（カタチ）ノ村故八日町ト云シトソ

産土神白山社

祭神越前白山神　　白山三社前ニ記

境内一畝十五歩　除地　　祭日　　氏子

村長書上帳ニハ伊邪那美大神一柱トセリイカヾアラム

同子安明神

祭神　　石像　　祭日　　氏子

玉襷四巻四十八オ云伊豆国加茂郡雲見ノ嶽尓鎮座笠須磐長比賣神注ニ伊豆国伊波乃比咩ノ命ノ神社ト同郡ニ伊波比咩ノ命ノ神社ト申モアリ今ハ子安明神ト申スソノ御霊代ハ畏ケレト子安貝ノ如キ小貝ノ奇シク凝タル状ノ石ニマストハ秋山章ガ伊豆志ニ記セリトアリ　菅笠日記上巻ト玉襷九巻ノ大和国吉野ニ斎奉ル子安明神ニハ非ジ　今モ吉城郡小嶋郷塩屋村塩竈明神社ニハ男茎形ノ石数多祭レリ子安明神ト云　坂下村ニ越中村ニノ婦人安産又ハ血長血ノ平愈タイノレハ忽チイユルトゾ

此社ノ石像ハ如何ナル像ニカ

秋聲敬寺　東本願寺宗高山照蓮寺末

本尊阿弥陀如来　文明十八丙午年開基

境内屋敷三畝廿歩　除地　　裡書本願寺蓮如在判飛騨国大野郡川上庄荻野道場願主釈慶空

荻野道場秋聲寺トハ心アル僧ノツケタル名ニヤ有ム

ちるくの萩むらさきに秋のこゑ空
みえて吹る杉の下川風
東渓

米 三百十一石二斗
稗 三十石
大麦 十八石
小麦 一石八斗
大豆 十二石
小豆 一石二斗
蕎麦 四斗
荏 一斗
菜種 三斗
京 千五百〆目
麻 五〆目
楮 二〆目
梅 桃 杏 栗
大ヱ 廿二〆目
小ヱ 八十四〆目
布 五十五反
薪

○三日町村（ミツカ）

高百八十七石一斗七升四合　　枝村 牧口 牧野

山林段別反数不詳　　縦 十五町 横 二町　　焼畑七畝十一歩

家六十六戸

人三百二十餘人

産物 繭 大 廿二〆目 小 八十四〆目　楮 一〆目　荏 一斗　布 五十五反　野菜　菜ダネ 三斗　薪 四百十間　茸 十〆目　カヂ炭 六百〆目

東方 山　　西方 牧ヶ洞村ヘ一里　高山二里

南方 藤瀬村ヘ半里　　北方 新宮村ヘ十町

村名義ハ詳ナラス

枝村牧口ハ馬城野（マキノ）今日牧ヵ洞ノ口（クチ）ニアルハナリ

産土神白山社　白山三社前ニ記

祭神越前白山神　祭日　氏子

境内一段二畝歩　除地

二ッ葉栗樹

枚村枚口ニアリ門徒宗風ノ抹香臭キ説アレドトルニ足ラズ

○牧ヶ洞村　枚村　夏虫　三尾　宝田　得丗

高三百十九石一斗六升七合　焼畑四段五畝歩　外九段歩　享保十二未年渡

山林段別木数不詳

家百九戸

人五百七十餘人

産物　大小繭八メ目　四十メ目　楮二メ目　荏五斗　野菜　菜タネ一石二斗　薪百六十間　竹筍六十メ目　茸百二十メ目　山トリニギジニ

白木綿十反　モメンシマ廿反　布百反

東方　三日町村ヘ二里

西方　夏廐村ヘ峠越二里

南方山

北方山

村名義ハ古名牧野ト云字木戸口　隣村三日町枝村牧口トモ云モ其東ニアリ　ト云處モアリテ古シヘ

馬ヲ野飼セシ處故馬城野トモ柵戸口トモイヘリトロ碑ニ傳タリ

輿ヲ馬城ノ洞ト云ルヲ後ニ牧ガ洞ト訛レル成ベシ

産土神（陰地明ハ無之）（此村神祇ヲ軽蔑ニスル丁察スベシ）

牧村夏虫

同三尾ハ水脈ナルベシ後山日子谷ノ水脈流レ出牧ヶ洞ヲ東ニ流レ三日町

枝村牧口ヲ経テ川上川ニ入

栗原神ノ社ノ古ノ跡（了徳寺後御殿ノ森ニアリ）

祭神

往古ハ荒城郡（後改云吉城郡）遠遊郷（和名抄ニ遊遊トアルモ上ハ遠ノ誤ナラム高原ノ古名ナリ）栗原村（後改云宮原村）ニ在テ當昔郷中ノ村々栗子ノ豊熟ヲ祈リテ年々五月ノ栗花落祭ニハ諸人集拝ミテ祈乞シトナリ中昔江馬ノ輝経鎌倉ヲ追出サレテ来リテ殿村ニ住居シテ數代相續何レノ代ニカ在家村桂本神社ヲ再建立シ境内ヲ廣大寄附シテ尊崇セラレケル後栗原社人ハ領主ノ江馬家ニ嫉マレ踈マレテ栗原村ニ住ガタク成ケレハ栗原神ヲ守護シ来リテ由縁ヤアリケム此牧野（今ハ牧ヶ洞トイフ）ニ住處ヲ求メテ栗原神社ヲモ建テ奉仕レリ其社人ヲ栗原衛門トイヒシト也數代ヲ経テ（此間凡二百年モ有ツラム）文安六戊己年五月田地賣渡ノ券札同年九月栗原衛門ト兑領ノ契約有ニ寄佐藤四郎ヘ田地譲渡ノ券札アリ（二通トモ了徳寺ニ在）其後一百八年ヲ経テ弘治二丙辰年其子カ孫カ栗原衛門本願寺宗ヲ帰依シテ入道ニ成テ了徳寺ノ開基トナリ栗原山了徳寺ト号其由緒ニテ今世ニ至ルニテ本堂庫裏ノ前ニ齊垣存在リヌ（佐藤四郎ハ門徒宗ヲ嫌ヒテロノ牧野ヲ退キシニヤ吉城郡萱沼村ノ白山社人ハ古シヘヨリ代々佐藤四郎トイフ此牧野ニ住シ佐藤四郎ノ末葉ナルベシ）

御代々ノ　聖主ノ叡慮ヲ廻ラサレ　文徳天皇マタ清和天皇
ノ御代ニミ神階ヲ授玉ヒテ其後延喜式内ハアラテクハヘ玉ヘル神社ヲ
イトカシコクモ廃テ其書物ヲ長瀧寺ヘ贈リ本願寺門徒ニナリシト
ハ如何ニ支ヲ辯マヘス𪜈神国ノ賊トモイフヘカラム

宝田杜（ホウデンノモリ）
祭神
麿ニ祭玉ル神　祭日八月三日湯花祭
宝田池（ホウデン）
池ノ小魚ヲトレハ神ノ祟アリトテ昔ヨリ村人口碑ニツタフ

牛首杜（ウシクビノモリ）
祭神白山比咩神　祭日右同日湯花祭
村長書上帳ハ高山筆工ニ任テ加賀白山神ヲ記セルナラム

字奥洞
宮ヵ端ノ杜
祭神

字三尾ノ奥
出合ノ杜
祭神

右四社トモ除地ナレ此牧ヶ洞村ハ古シヘ天台宗長瀧寺檀那ノウチハ
産土神　里程一里余モアル長村ニテ殊ニ枝村得飩夏出モ三尾等モアリテ程ヘダチタレハ産土神ハ四社モ有ツラム其後本願寺
宗ノ僧等ニ欺カレ神祇ヲ軽蔑ニシテ栗原神社ヲ壊チ祀ヲ廃テ
社人仏道ニ入シホドノ不人情ニテ神国ノ道ヲ知ラサル故ニ元禄ノ検地
ニモ四社ノ除地ヲ不願シニヤ検地吏モナドテ心ツカズ有ツラン

御殿ノ森
栗原山了徳寺
本尊阿弥陀如来　東本願寺宗高山照蓮寺末弘治二丙辰年開基栗原衛門釈了専
裏書天和三年本願寺常如
境内屋敷六畝廿五歩　除地
寺前玉垣

粟原衛門田賣劵

九寸四分

大野郡牧ヶ洞村粟原山了德寺藏

賣渡 永代之田の事

合錢文九[illegible]

ところハ公方イ柏内

んとん志はら一反

但ところ一反をハみらひん

右件之田地ハ依有要用永代に

代陸恩又ニラせ渡ト属實[illegible]

但一之売るい恩い之口

ららい申まへく候

仍為後日状如件

文安六年 五月廿九日

ららま河上荘海寺の粟原衛門 十

文安六己巳年ハ後花園天皇ノ御代ニテ即宝徳元年ニ此賣劵札ノ写ハ飛州志ニ出ラ夏厩村蓮德寺ノ什物ナリ八田ノ買主ハ蓮德寺ノ先祖ナルベシ享保十三年飛州志編集ノ後年代不知蓮德寺ヨリ本ノ復シタルナラム文安六年ヨリ百八年後ノ粟原衛門（当時ノ子カ孫カ不詳）弘治二丙辰年粟原山了德寺ノ開基タリ

栗原衛門田譲状

八寸二分

大野郡牧ヶ洞村栗原山了徳寺蔵

譲渡田地之事
合弐段 在所ハかきのはさと
又弐本之下在之二段也
右件之田地者さしつまる要用ニ兄弟之
けいやくに依而末代売渡所実
正也 但一ぞくしんるいと云とも更
いらんわづらいあるまじく候
此下地におきてたのさまたげなく候
以證文依て在之所一言
子細有之何時成共此譲状
如件
文安六年己巳歳九月廿五日
譲主川上牧之住人 栗原衛門 十
同さとう四郎 〇

佐藤四郎ノ後胤ハ吉城郡菅沼村ノ白山社人也 元禄検地帳ニモ除地帳ニ載タリ 宝暦ノ栗原衛門カ社人ニテ社殿ヲ廃仏法ニ述ヒシヲ忌避テ此譲状ヲモ本ヘ復シテ後彼菅沼村ヘ立去シカ未由詳ナラス
佐藤四郎忠信吉野ニテ義経ノ跡ニ残リ衆徒ヲ討散シ忍テ京ニ上リシテ女ノ告ニ依討手向ヘルヲ討敗リ来テ隠住シ後胤ナラシカ

枝村得能（トクノ）　大日本史巻百七十列傳云土居ノ通治（ミチハル）稱二郎得能通言稱
彌三郎並伊豫人河野氏ノ族也　按土居得能新居高市今井松木難波江徳永高部諸氏皆河野氏支庶所称也　云々
四國ノ壬将脇屋義助病歿後土居通郷（通治子）得能彈正（通言子）
細川頼春ト戦不利シテ退テ備後ノ鞆ノ城ヲ取歟又来攻後不
知其所終トアリ按ニ得能氏ハ此村ニ来リ徳永氏ハ小島郷カ有
巣組ニ来リ（其村ニテ中昔徳永郷トイヘハ之）土居氏ハ八賀郷殿垣内村（今モ土居ト云家ノ末孫アレハ也其村ノ條下合セ見テ知ルヘシ）ニ来リ隠住シナラムカ又国中ニハ新居今井松木等ノ家名ヲ称ル
家多カリ猶能溫（タヅ）ヌヘシ

枝村殿村　中昔ノ領主住居ノ跡カ彼得能氏ノ田畑等ノアリシ跡カ
詳ナラス

ドンジ殿屋敷跡（字ゼムマイ洞口）　ドンジ道凡一里餘
ドンジ殿ト中組殿トハ不和ニテ新道ヲ開キ通行ノ由言傳ヘタリ
姓氏来由年代詳ナラス

中組殿屋敷跡（字塚ゴシ）　今ハ耕地ニナリタリ
ドンジ中組モ姓氏来由年代詳ナラズ

篠筍（サヽノコ）　篦竹笋（ヘイチクノコ）（タケノコ）
枚ヶ洞ハ枝村夏出三尾ヨリイト近キ小島境ノ比古（ヒコ）岳山ニテタハ下
本境ノ深山ニ篠篦竹ノサハニアレバ年々立夏小満ノ頃笋（タケノコ）ノ生出
ルヲ彼枝村ハサラ也本村ヨリモ攀躋（ノボリ）テ採来リ高山町ヘ賣出
ルニ美テシ菜肴トス又ハ塩ニ漬置テ用ルニ孟宗竹又呉竹ノ筍

呉竹ノ筍ヨリハ、却テ脆ク和カニテ、味甘美ナリトテ、賞来リヌ、
尤最初端山ノ笋ハ、瘦テ細クテ硬シ、五月ニ成テ最深山ヨリ
生出ルハ、肥テ味最佳、
笋長テ
六五寸
出タルヲ
佳味ノ
筍ト云

粟二百五石
稗百五十石
大麦六十石
小麦二石
大豆十六石
小豆一石五斗
アハ五石
キビ五斗
エ一石
ソバ十石
麦千八百〆目
麻三〆目
楮五百目
桃一石五斗
李二石

○藤瀬村　枝村　鈿女　今谷

高二百十二石二斗二升四合　縦廿二町　横四丁　焼畑五段五畝歩　外一町一段歩　享保十二未年渡

山林段別木數不詳

家五十九戸

人三百二十餘人

産物　大小繭　三十〆目　百〆目　楮　五百目　荏一石　布小五疋　薪　菜タネ一石五斗　白木　川魚　ハエ　ウグヒ　アヂノ　マス十本　茸十六〆目　礪石

東方山

西方山　高山二里半

南方福壽村ヘ十三丁

北方三日町村ヘ二十三丁　半里

村名義ハ往古其處ナル川瀬ノ上ニ藤花ノ打ナビキテ咲タルヲ見テ村名ニ負セツルナラム　藤原　大和地名　藤津　肥前郡名　ナドアリ　郷名其外ニハ藤田

武蔵榛沢郡
陸奥白川郡 藤澤 東海道駅名
上野勢多郡 藤野 備前国
和気郡 葛江 布知衣播磨
明石郡 ナドニ
ナ有シマヽニ付タル名ナルベシ

枝村鈿女(ウズメ) 古シヘ此村ニ天宇受賣命(アメノウズメノ)ヲ祭リシ故ニ 今モ吉城郡保村ニハ鈿女ノ命ノ社アリ 名ニ
負シニヤ天照大御神(スノトリ)ヲ齋祀(イツキマツ)レル村ナレバ左モ有ベシ

同今谷(イマタニ) 名義イマダ思得ス 此岩ヨリ礪石ヲ堀出ス

本村
産土神神明宮
祭神天照大御神 祭日 氏子
境内三畝廿九歩 除地

鈿女
同 神明宮
祭神天照大御神 祭日 氏子
境内四畝廿八歩 除地

右二社除地帳ニハ郷中抱トアリ

森野楢親(スエチカ)曰藤瀬村ノ了因寺ノ傍ニイニシヘ大ナル藤アリシ故寺ヲ白藤山ト号ノ村ヲ藤瀬ト称シトゾ蒲八十村日了因寺ノ辺ニイト大ナル藤有テ其藤蔭ヲ川ノ流レケル故其ワタリヲ藤瀬トイヒケルカ村ノ名ニオヒケル之然ルニ年ヲヘテ川ハ流ヲカヘテハルカニ西ノ山ノ麓ヲメグリ行(ユキ)藤ハ近年枯ケルヨシ彼寺ノ老僧因成庵義海師語ラレキ○礼彦按ニ何レモ古今ヲ弁ヘサル妄説ナラム抑藤瀬村ノ辟ケテ村名ノツキシハ上代ノコナラム 当村又支村ニ天照大御神ヲ二社マテイツキ祭リ支村ハ鈿女ノ命ノ御名ヲツケシコニテモイチジルシ 彼義海ハ文政年中ノ僧也藤瀬ノ村名ノ古證ハ天正年中三木ノ臣藤瀬新蔵 藤瀬村産ナルヨシ トニ云ル者松倉城ノ寄手金森勢ニ内通シテ城ニ火ヲカケ三木方落城滅亡セシニ非スヤ其後金森家領国中モ古来ノマヽ藤瀬ト唱元禄ノ検地帳ニモサ記セリ豈近世ニナリテ名ニ負シ藤瀬村ナラムヤ 藤ノ許ニ蕃生ハ当村ノ地理ニヨリ合ハナルベシ天保年中礼彦彼村ヨリ二尺ニ

未満苗蔓ニ花ノアマタ咲タルヲ得タリ
上代ヨリカヽル藤ノ名所ナラムカシ

了因教寺 東本願宗 高山照蓮寺末 文明十八丙午年開基
本尊阿弥陀如来
境内屋敷一段八畝二歩

欄干橋 長 幅

源氏ガ嶽

牛牧山

鳥

獣

草

木 檜 椹 扁栢 姫子松 栗 楢

川上の村々と
ともにし附
村家のあるしよ
りきりて
またくへの山着せん
さうくへまかまし
あちめありて
とてこよ
其味母のあり
そのさゝらつて
山家の清水ありてハ
くりるるうなれ
あちめハよ結ふよ
何う文や
礼気

逆魚筍(サカウヱ) 上筌(ノボリウヱ)トモ云

香淵のうち川上川の
きしふ清水の流れある
数多ありて毎年七月中旬
より二百十日頃まて村民
逆うゑをつけおけバ安治来(あぢか)ハ
清水のなかれある方へ行とて
のぼりむれて皆その上る魚の
魚うゑの中に入て皆ゆうり出る
うゑとゆひ其とりて魚筍
の後方乃堀りて掬ひとて
一名ふあぢめ数をとりて高山町て
販売村の食用にも用ゆ

○福寄村

高百五十七石三斗三升七合

焼畑四段四畝九歩

山林段別木数不詳

家四十九戸

人二百十餘人

産物 大小繭九十メ目 生糸廿把 楮 ミツシ三足 薪 布五反 茶種九斗 白朮 茸二メ目 山ドリ六 マス四本 ハエ千 サコ八百

東方山

南方三ツ谷村ヘ十五丁八丁

西方山

北方藤瀬村ヘ十三丁 高山二里半十三丁

村名義

産土神白山社 社 白山三社前ニ記

祭神 越前白山神五社 祭日 氏子

境内一町四段七畝十八歩 除地

米百五十九石ヨ
稗八十四石ヨ
大麦八石五斗
小麦四石二斗
大豆十二石ヨ
小豆三石ヨ
粟一石ヨ
ソバ二石ヨ
荏八斗ヨ
黍三斗
楮千八百メ目
麻三十六メ目
弘法茶十二メ目
烟草二百斤
藍十八メ目
梅八升
桃四升
李一石一斗
山ナシ二斗
栗五石二斗

○三ツ谷村

高百九十九石四斗六升七合 縦十八町 横七町

駅舎 高山ヘ三里餘 首巣ヘ二里

焼畑一町九段六畝廿四歩 外三町六段七畝十八歩 享保十二未年渡

山林段別木数不詳

家八十五戸

人三百九十餘人

産物 大小繭三千メ目 真綿四十五把 生糸百二十把 楮 荏八斗 白朮 藍十八メ目 薪 布百廿反 茸廿五メ目 飛角百十本 板九千五百枚 サン カミナ九百 マス三本 ハエ三百 ウグヒ二百十

東方宮村ヘ峠越二里

南方山

西方坂村ヘ半里ヨ 下本村ヘ廿丁

北方福寄村ヘ十五丁 高山三里十五丁

村名義ハ方言ニ川ヲ本谷ト云リ サレハ此村ハ川上(カハカミ)川下(カハシモ)ト大楢(オホナラ)渓(ダニ)ト檜(ヒ)渓(ダニ)ト水ノ落合村故ニ三渓(ミツダニ)村ト名付し由也

クルミ一斗
カヘ一斗五升
トチ六石一斗
ナラ七石三斗
ヒヨビ二斗八升

産土神白山社　白山三社前ニ記

祭神　越前白山神五柱

境内二畝廿歩

村長風土書上帳ニハ祭神加賀白山三社ヲ書タルハ高山筆工ノ所為ナルヘシ

一念教寺　東本願寺宗高山照蓮寺末　文亀元辛酉年開基

本尊阿弥陀如来

境内屋敷七畝廿一歩　除地

大樀谷　檜　苔

鳥

獣

草

木　檜　姫子松　樀　栗

米三十石
ヒエ六十八石
大ムギ四斗
小ムギ二斗
大豆四石六斗
菜八百三十〆目
麻十〆八百目

○下本村　枝村

高四十四石九斗三升九合

焼畑四町三段四畝四歩　外六町二段八畝八歩　享保十二未年渡

御年貢皆金納　以下村々同

山林段別木数不詳

家二十一戸

人百十餘人

産物　大繭五〆目　小繭廿匁目　楮　白木　荏八斗　布三十六反　ヒ角九十五本　ヒ板二百間　薪杏六間　茸十〆目　猪一疋　山トリ　キジ　マス

東方三ッ吉村ヘ半里餘廿一丁

西方山　高山四里

南方坂村ヘ八丁

北方山

村名義ハ和訓栞ニ本ヲ母止ハ最処ノ義也又最ヲ母トハ母止母ノ義最中ナト云是之礼彦按ニ下本坂ハ元一村ニテ坂ニ比レバ下ナカラ乎

地ニテ田畑モサハニアレバ最処ト云義ナルヘシ 栗ニ大立ヲ木トイヘルハ松木槻木杉木桂木ノ類之叢ヲ本トイヘルハ山木坂木岡木ノ類之下本ハ木立ト叢ノ類トハ異ナルヘシ

産土神白山社　白山三社前ニ記シ

祭神越前白山神　五柱

境内三段三畝廿歩

村長上帳ニ古シヘハ郷中都テ美濃国郡上ノ長瀧寺僧徒処置ス何レノ神ヲモ白山神ノ前ニ立テ此下本村ノ祭神ハ伊弉諾尊之トアレ

信用ガタシ

満成教寺　東本願寺宗高山照蓮寺末　明応三甲寅年開基

本尊阿弥陀如来

境内屋敷四畝十七歩

石楠渕（シャクナン）下本村舎ヨリ二十町許川上ニテ字大倉山ノ叢ニアリ川上川

波の花手折ゑ
さくあけの渕の
上ある久けそ
うつ川ろふ
泰章利

其水源龍カ嶺ヨリ流出テ中野村ヲ経テ二俣村ニ出テ西水源川ニ落
合テ有巣村ニ来リ諸山ノ谷水モ落合タレハ川幅凡七八丈許モアリヌヘシ
此石楠渕ノ頭ニ到テハ其幅甚狭ク銚子ロナシテ其口ヨリ滾落
テ渕ニ入其渕ハ甚瀾ミテ是数十丈モ謂ツヘシ恰モ大圓鏡ノ
如シ流末モ亦狭クナリテ流レ涯テ下本村ニ出其光景山中ノ一
奇観ナリ可惜遠ク往還路ヲ隔タレハ観人ナキコヲ飛州志ニ三
谷村ニ在ト記セルハ誤也美濃人長戸譲 号得齊佐藤一齊翁門人 北道
游簿ニ云従有巣村経三谷村溪水涯而為潭曰石楠
渕多石楠故名トアルハ後ニ飛州志ニ拠テ記タルニテ眼前見
タルニハアラシ
鼺鼠、鼠 下本村大倉山中 三才図會ムサヽビ モミ ノブスマ モヽカ

飛州志七巻諸説部消火獣條下云本土ニ於テ夜陰ニ山野ヲ往来スル人ノ携持タル松明或ハ挑灯ノ火ヲ消ス獣アリ適是ニアヘハ人甚畏レヌ其名ヲバンドリト云リ故ニ或時其バンドリヲ猟師ノ鉄炮ニテ打トメルヲ余見タルニ稀有ノ状也凡頭面ハ猫ニ似テ全身ハ二尺四方バカリ衾ヲヒロゲタル如シ脊腹共ニ皮毛バカリニシテ中央ニタバ手鞠ホドノ肉アリ脊毛色赤黄之腹ハ白黄之其衾ノ如キ四隅ニ至テ短キ四脚アリ猫ノ脚爪ニ等シ尾ノ真中ニ太キ筋アリ長毛脊ノ色ニ同シク栗鼠ノ尾ノ如シ猟師ノ云常ニ木ヲマトフガ如ニシテ居レリ故ニ見顕シガタシ其枝ヨリ枝ニ移リ又地ヲ走ルモ甚疾シ空ヲ飛行スルニハ全身翅ト成其羽風荒シ老テハ人

ヲモ纏殺トソ本綱云、鸓状似蝙蝠、大如鴟鳶、而肉翅四足翅尾項脇ノ毛紫赤色、背上蒼、腹下黄色、喙頷襍白色、脚短爪長、尾長三尺許、其翅聯四ノ足及尾與蝠同、以尾飛而乳子、子即随母後、声如人呼、食火烟、能従高趣下、不能従下上高、喜夜鳴、取其皮毛與産婦臨産持之、令易生、能飛而且産、故寝其皮懐其爪、皆能催生、按鸓鼠擴肉ノ翅於地如氈衾、俗曰野衾、関東曰毛毛加、西国曰板折敷ト見ユ礼彦弘化元甲辰年冬大倉山ヘ登リシ節、見シマヽ記シツ、

大倉瀑布　高四十餘　巾六尺

川字滝　高九尋　巾三ツ共三尺

下本村西迫山内ニアリ三瀧一ツノ岩壁ニ挂リテ三ツ共幅齊シ宗清水

奇ノ音羽ノ滝ハ樋モテ水ヲ落セバ奇トスルニ足ラス此川字ノ滝ハ天然ナレハ賞スヘシ

大倉山（オホクラ）

西迫山（ニシザコ）

鳥

獣

草

木 檜（ヒノキ） 椹（サハラギ） 扁柏（ヒバ） 赤檮（イチヒ） 栗（クリ） 楢（ナラ）

川 上川

魚 鰷（ハエ） 鯆（ナカブ 又 チヽカブリ） 鮔（ゴリ ゴリンコ） 鱒（マス） 雜魚（ザツコ） 石魚（イハナ）

粟十九石
ヒエ十二石八斗
大ムキ一斗
小ムキ八升
大豆一石四斗
楮二百九十メ目
麻四メ八百目

○坂（サカ）村

高八石八斗六升三合
焼畑五段六畝廿四歩
外九段三畝十八歩
享保十二未年渡

山林段別木数不詳

家六戸

人二十餘人

産物
下本村同　大ミ　三メ目
小ミ　十三メ目
荏二斗九升
檜角廿三本
同板五十間
木綿二反
布十二反
薪木呂　二間

東方　三ツ谷村ヘ半里九丁

南方

西方　有巣村ヘ峠越一里
高山　四里

北方　下本村ヘ八丁

村名義ハ有巣村エ越ル坂中ニ在村ナレバ也　古シヘハ下本村ト一村ナリ
シヨレ口碑ニ傳フ

産土神白山社　白山三社前ニ記
祭神越前白山神
境内一段五畝六歩　除地
此祭神ヲ菊理媛神一柱神書上タリイカヾ有ム
岩穴ヶ尾
小絲山
鳥
獣
草
木　檜（ヒノキ）　墨（クロ）檜（ヒ）　扁（ヒ）栢（バ）　椹（サハラギ）　姫子松　栗

米　四十八石
稗　二百八十八石ヨ
大麦　三石
小キ、一石六斗
大豆十四石
蕎麦二石八斗
粟　八石三斗
荏　一石五斗
桒　千九百〆目
麻　三十〆目
李　山梨
大ユ五十〆目
小ユ二百〆目
布　三十疋

○有巣（アツソ）村　枝村　上アツソ　下アツソ　向アツソ
高七十八石七斗二升九合　縦八町　横三町
山方村以下同　焼畑三町四段三畝七歩　外ニ町八段六畝十四歩　享保十二未年改
山林段別未数不詳
家三十九戸
人二百五十餘
産物　大繭五十〆目　小繭二百〆目　白木　布三十疋　油荏一石五斗　マス　ハエ
東方　坂村、峠越一里　西方山
南方　二俣村、半里　北方山　高山五里
村名義ヲ村長風土書上帳ニ此村ハ山内大木多ク鷹所々ニ巣カケタレハ享
和年中中野村庄三郎ハ巣鷹見立役ヲ命ラレ鑑札モ持レバ有巣村ト

越前國ノ鷹ノ巣山ト吉城郡在巣村ノ外ノ鷹巣村トヲ云ヘケレ巣鷹山ハ此村ニ限ラズ國中村々一体
ナリ又享和年中ニ有巣村ト云ベシトテ
非也若然ラハ字ニ泥ミテ古ヲシラヌ愚説也
栩此村ハ享和年中ニ初テ開キシ村ニアラ
百十年昔ノ元禄検地帳其外ニ有巣村ト名ヲ付テ
持ムモノカハ村名ハ神代ヨリ有シモシレヌコナリ

村名義ハ此村ノ山内御谷ノ奥ト二俣ノ赤瀬ノ奥ト宮村ノ奥温湯谷ニ接シ其西面シ谷ニ谷ノ内ヘ古ヘ温湯涌出シユヱニ熱沢(アツサワ)ト唱来リシヲ中古温湯ヲ地震デユリツブシ谷川ノ水中ヘ涌出テ熱澤ノ名ノミ残レルニハアラジカ其村氏ニタワシタヅネテ知ルヘシ

號スト云ルハ
ズイツヽ上代京畿ヨリ来ルニ大原ヨリ入来レハ大原郷ト云シヲ中昔徳永
郷ト唱ヘテ 南朝ノ方人四國ノ徳永氏来リテ此村カ六方峠ヲ(後口ノ山ヲ)越テ小島郷ニ住テ此組三ヶ村ヲモ領セシニヤ 明應七戊午年本
願寺實如裡書ニ徳永郷有惣ト有ニテ知ルヘシ今モ村名然イリ
桜ニ名義有澤(サフ)ナラムカ澤ヲ左不(サフ)ト云ハ澤上(サフレ)澤奥(サフナ)別名奥ノ(イハナ)澤(サフ)胡(クル)
桃(ミ)ノ瀬ナリ河(カハ)ヲ河内(カフチ)河野(カフノ)寺河戸(テラカフド)三尾(ミヲ)河(ガフ)ノ加不ニ同シ其後徳
永郷ノ川上郷トナリシハ年代詳ナラズ

産土神八幡宮
祭神廣幡八幡大御神　祭日　氏子　有巣二俣中野三村民
境内一畝廿七歩

慧林教寺　東本願寺宗高山照蓮寺末　明應七戊午年開基
本尊阿弥陀如来　東書本願寺実如在判　飛騨國大野郡徳永郷有惣秋正了
境内屋敷一段五畝四歩
官道驛舎　高山三里余　三ツ谷二里　有巣三里　楢二里　大原
川上川
魚　鮠(ハエ)　鰷(チヽカフ)　鮔(コリンス)　鱒(マス)　石奐(イハナ)　雜魚(ザツコ)
山方村ニ有巣組有巣二俣中野　楢谷村　大原村　六厩(白川郷)村ノ六村ヲ古シヘ
ヨリ村木伐出山方村ヽト唱ヘ極深山ナル村々ニテ山ニヽ上木ヲ数多生
タレト穀物登リ(ミノ)カヌル村ナレハ徳川家ヨリ年々手當ニ買請米ヲ渡シ
テ村民ヲ救ハレシ村々也

稗 二十石
大麥 三斗
大豆 二石
小豆 一石二斗
粟 二石
蕎麥 一石六斗
荏 五斗
茶 五十〆目
麻 五〆目
李 山梨
大マユ 五〆目
小マユ 二十〆目

○二俣(フタマタ)村

高七石六斗四升　山方村　焼畑七段四畝八歩　外一町八畝十六歩　享保十二年渡

山林段別木數不詳　縦三町　横一町

家五戸

人四十餘人

産物　有巣同　大マユ 五〆目　小マユ 廿〆目　荏五斗　小白木　市五疋

東方山

西方　六厩村

南方　中野村、半里

北方　有巣村、半里　高山五里半

村名義ハ龍馬嶺(リウカミネ)ゴエノ宮道ト西水源(ミシウレ)山ゴエ六厩村ヘ出ル山路此村ノ中ニテ二岐ニナレバ村名ニ負シナルヘシ　川上川ト西源(ミウボレ)川トモ此村中ニテ落合テ流レヌ　二俣ハ古言之

古事記ニ若沼毛二俣王ニ俣榲二俣小舟等アリ

産土神

西水源山　牙武洞　赤瀬平

馬

獸

草

木　檜　黒檜　扁柏　椹　赤檮　栗　姫子　朴

稗二十石
大麥二斗
大豆八斗
小豆二斗
蕎麥一石二斗
菜百メ目
麻九メ目
李　山漿
大繭一メ目
小玉九メ目
布五疋

○中野村

高七石五斗六升七合　山方村　焼畑一町五段四畝廿八歩
外二町六段九畝廿六歩　享保十二未年渡
縦三町　横一丁

山林段別木數不詳

家三戸

人三十餘人

産物　有巣同　大玉一メ目　小玉九メ目　小白木　布五疋

東方山　西方　高山六里

南方　峠越稲各村ヘ二里　北方　二俣村ヘ半里

村名義ハ龍馬嶺ト有巣峠トノ中間ノ野ト云義ナルヘシ古ヘアツサフ人此
野ヲ墾開テ住初シ年代不詳

産土神

龍馬嶺（リウガミネ）

中野村ト楢谷村トノ堺ノ大山ヽ山顛ニ龍馬石アリ〇北道遊簿（佐藤一齋門人美濃得齋長戸譲紀行）云、躋龍峯岺崿可、駛見一大石、形如馬身、有連錢紋、呼曰龍馬石、不知造化何以致此奇巧、非人工雕鏤所能及也、俗傳神聖之世、龍馬天降化為此石、飛驒之名蓋是而起、恐是後人誣説云ヽ、東望騎鞍嶽頂成四享、秀削攙天、實州中巨山也、其北為槍嶽、又其北為笠嶽、又其東北為硫黄嶽、各呈詭姿、其他殘山剩嶂、森拱屏展、盡萃於一矚、可謂奇觀矣

内ヶ谷山

鳥獸草木（二俣村ノ諸山ニ同シ）

龍馬嶺（リウガミネ）防禦

国民口碑ニ傳タルハ天正十三乙酉年八月、金森家父子、本州征伐ヽ、兵部卿法印ハ、二ツ屋口ヨリ討入玉ヒ、出雲守可重朝臣ハ（治乱記ニハ喜三可重ト記セリ）遠藤大隅守加勢ニテ、御供ニハ田嶋太郎八、笹俣太郎左衛門、長屋甚藏、遠藤、西脇、川合、大塚、日根野、齋藤、中島、寺戸野地、青山、松山、松永、分部、森、手塚、中村、袖原、国分、時枝、山藏葛西、一柳、矢野、馬場、猪子、吉田、阿波賀、山内、水野、飯沼、後藤、都合其勢一千人雑兵ト二千餘人（飛州志軍乱記ニハ千五百餘人トアリ）越前大野ヲ打立郡上ヘ出、野ノ俣口ヨリ入玉フニ、下山（六厩カ馬瀬郷下山村カ）龍ガ嶺ニ三木ガ軍兵支ヘタリ、皆ヽ討破ラムトセシヲ可重留玉ヒ三木此口ヲ頼ニ思ヒ多勢ニテ防キ伏兵等モ有ヘシ

小池吉成二村正純鷲見正雅の三士龍馬嶺まて営伐したる
大木を積かさなる大石を残らす除し全森家の軍務を苦し
まさしむる図

畧之

まつりをハ人もうるまて龍の手向なれハいかさまを
心あるきくりかるのこと

社彦

是ヨリ和良ヘ出益田口ヨリ入ヘシトテ竹原ヲ越テ下呂ヘ出玉フ（飛騨国治乱記トアル如ク）
麥嶋ヨリ楢谷ヘ来リ龍カ嶺ヘ登リカヽル処小池吉成二村正純鷲見
正雅ノ三人家ノ子トモヲ召連カネテ嶺上ニ大木數多（榾柮ノ如ク）管伐シテ大
石トモニ積置テヲカリ崩シツキ落シケルニ険阻ナル阪路ノ処々ニ積置ル
榾柮ノ棚大石ノ塚ニ落来テ衝當リ或ハ路傍ノ岩石ニスレ合ヒテ
空中ヲ飛テ崩落来ル其音山壑ニ響キ百千ノ雷ノ一時ニ落来ル
如ク先ニ進タル雑兵其木石ニ打レテ即死ノモノ少カラス折シモ八月ノ初旬
ノヿナレハ山上深山ノ木葉繁茂合テ敵ノ立処ハ見エワカス放テル矢玉ハ木根
岩稜ニノミ中リ為方ナケレハ可重朝臣急ニ下知シテ此処ヲ打捨置テ下原
ノ方ヘ廻ラレシトナリ此三士金森家ノ多勢ヲ防禦ノ叓績ハ今ニ至ルマデ国中ノ人口ニ膾

炙セル処ニ然ルニ寛文九己酉年（金森家五代飛騨守頼業朝臣領主ノ時ニ）小池二村ノ由緒書ニ
此防禦ノヿヲ記サゞルハ（天正十三乙酉年ヨリ八十五年後ナレトモ）包ミカクシタル成ヘシ荒城郡古川ニテ
面謁ト記シタレト其ハ松倉高堂氏對陣ヨリ後ノ叓ナルヘシ八十五年モ
後ノヿナレハ當初ノヿハ知タル人モナク嫌忌ノ処ハ省キシナラム
然ルニ其歳金森父子惣軍ヲ以三木一族ヲ責亡国中平定ノ後彼三士金森
家ヘ降参セシヲ大量ノ金森氏其ヲ許シ何ノ咎モナク却テ竜馬嶺ノ防禦
ヲ心中ニ感メ助命セラレ文禄三年ニ至リ他ノ姓名取ニ加擔セサルヲ賞メ小石
完ノ朱印地ヲ賜リシ故ニ慶長五年九月八幡征伐ノ時三士先導メ粉骨
砕身シ恩ニ報セシハ建武ノ昔小山田高家ノ求女塚ニテ新田氏ノ為ニ討死
セシ忠勇ニ異ナルヿナシト謂ツヘシ

楢谷村山内

龍ヶ平(リウガヒラ)　赤谷(アカタニ)　雲母山(キラヽヤマ)

鳥

獣

草

木　檜　椹　黒檜　姫子　赤檮　栂　栃　栗　樜　楢

稗　百六十石
蕎麦　百十二石
大麦　三石六斗
小麦　一斗五升
大豆　八石二斗
小豆　二石一斗
粟　四十石一斗
荏　二石四斗
桼　二百ノ目
麻　十ノ目
大繭　十ノ目
小繭　二十ノ目
布　十疋

○楢(ナラ)谷(ダニ)村　枝村　麦嶋　一ッ梨　山方村

高五十四石三斗七升　焼畑六町二段廿五歩 外十一町四段一畝七歩　享保十二未年渡

山林段別木数不詳

家三十三戸

人二百五十餘人

産物　大繭 十ノ目 小繭 二十ノ目　布十疋　火縄五百把 白木　乾蕨　乾舞茸　猪一疋 鹿一疋　山葵　ハヱ　イハナ　ザコ

東方山　西方六厩村ヘ峠越

南方大原村ヘ一里半　北方中野村ヘ峠越二里　高山ヘ八里半

村名義ハ文字ノ面ナルヘシ○上古ヨリ大原村ノ南ノ高山ハ国界ニテ彼処ヨリ北ハ飛騨国ナル可和名抄大野郡大原郷ニテ著シ其ヲ中昔此楢谷

ト大原ヲ馬瀬郷トセシハ馬瀬川ノ水源ニアル村ナレハ之（龍馬嶺ナル石ヨリ頁クル馬背郷名ニモ）
アラムカ然ルニ應仁亂後（国司ノ号令ユキトゞカデ）美濃国士ニ馬瀬郷ノコラズ奪掠
ラレテ美濃国ト唱ヘテ居シラ（諸寺ノ本尊裡書ハ此間ナレハ然カケリ）永正十五戊寅年益田
郡櫻洞ノ城主三木直頼取返シテ往古ノ如ク飛騨国トセシハイツ
シキ功ニト謂ツヘシ其ヲシラテ飛騨ハモト美濃国ヲ分シ国ナラムト云ハ
国造本紀ヲモ見ヌモノヽ論ニテトルニ足ラヌ説ナリ

○麥嶋ハ楢谷ノ奥ニテ地脉至テ高ク霜雪早ク降ル南向ニテ土理
ヨレトテ古ヘシ試ニ麥ヲ蒔ケルニ熟シケレハ人住来レリト言傳フ

○一ツ梨ハ古シヘ橋（ヤマナシ）一本アリシ処ニ人来テ住初シ故シカイヘルナルヘシ

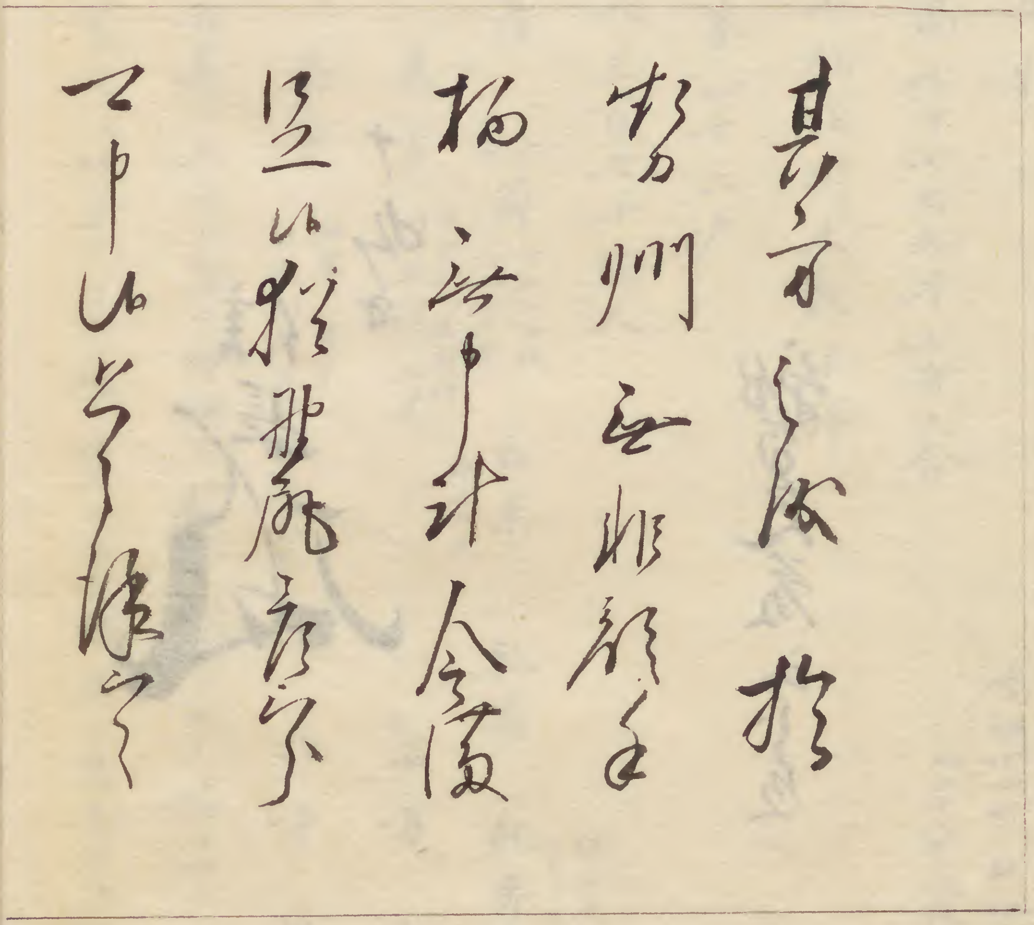
○北道游簿云、至楢谷一境在深谷底旁窺天色民家星布、谷牧（樵）
為業、余扣數家乞宿皆拒以無米得一寺投之曰楢谷寺炊
粥供之是夕有京僧來説法、村民集聴、喧沓殊甚及夜深人
散忽聞有声雲然起於枕上、余適夢覚、以為風雨驟至徐案
之泉流之注壑也、可謂清絶矣

産土神白山社　白山三社前ニ記
祭神越前白山神（三社）
境内一段五畝歩

楢谷教寺　東本願寺宗高山照蓮寺末　延徳三辛亥年開基
本尊阿弥陀佛　本尊裏書　釈蓮如　濃州郡上郡奈良谷　釈善宗
境内屋敷九畝廿歩
付物蓮如師自画真影　唐織錦襴　青磁香爐

楢谷寺トハ門徒宗ニ不似合古風ノ寺号也元来天台宗ナト轉派セシヤラム（開基善宗ハ鷲見藤三郎保憲三代彦太郎善保三男彦次郎文明三年四月本願寺蓮如ノ教化ニ逢剃髪セシト楢谷寺由来書ニ出）

郷士鷲見彦太郎正雅（先祖勲功未由不詳）楢谷村ニ住居シテ位名取（ヰミヤウトリ）ト称リ三木家ヨリ代々正雅ニ至ルマテ楢谷村ヲ領シタリシカ天正十三乙酉年金森家父子三木ヲ亡ボシ国中ヲ平治セシ節正雅大原村ノ両士トモニ降ヲ乞村高ヲ差出シタル成ヘシ其後国中ノ位名取法印伏見ノ留守ニ蜂起セシニ加ハラス忠節ノヨシニテ文禄三甲午年法印ノ肥前名護屋ヨリ帰国ノ節大原村ヘ三十石出サレ高十石宛ノ朱印一紙ニ記シ下サレシヲ彦太郎預リ居慶長四己亥年二月火災ニ遇焼失シヨシ小池二村由緒書ニ出彦太郎裔ハ百姓次右エ門ト云



大野郡川上郷
楢谷村民
鷲見
次右衛門蔵

米 八石五斗
稗 五百八十五石
大麦
粟
大豆
小豆
蕎麦
大角豆
荏
栗 椽 楢
大マユ 十メ五百目
小マユ 六十五メ目
布
藤布
檜 箸
木履

大原村　枝村 小原（ヲバラ）　山方村

高七十七石九斗七升六合　焼畑小四町一畝四歩 外二十七町八段二畝八歩 享保十二未年渡

山林段別木数不詳

家四十二戸

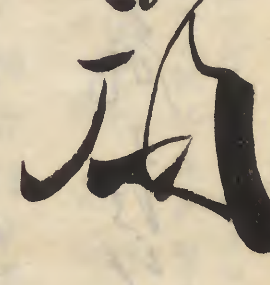
人三百七十餘人

産 大繭 十メ五百目 小 六十五メ目　白木 布廿五尺　乾蕨　乾舞茸 山鳥五 猪五足 鹿六足　下駄 ハエ　山葵 イハナ アジメ ザコ　芹

東方 川上村ヘ二里 益田郡 馬瀬郷　西方 山

南方 国界ヘ一里半 美濃国郡上郡坂本村ヘ二里　北方 楢谷村ヘ二里

村名義ハ上古ニイマダ田畑モ村舎モ開ケサル前ノサマカク有ツラム今ノ長林寺ヨリ北ノ坂上ハイト曠原ナリシ故名ニ負シナルヘシ 枝村小原モ同シ意ナルヘシ 大原郷ト

十九日　信長 

鶴見大蔵とのへ

古シヘ唱ヘシモ此村名ヨリ出シヿ總説ニ云ルカ如シ又應仁乱後奪掠ラレテ數十年間美濃国ト唱ヘシヿ楢谷村ノ如シ

産土神神明宮

祭神天照大御神　祭日　氏子

境内一段七畝十五歩　除地

同熊野社

祭神須佐之命　祭日　氏子

境内八畝歩　除地

熊野社祭神ノヿハ奈太郷西ノ一色村小八賀ノ郷坊方村三枝郷赤保木村ニ記セル如ク木種ヲ分播給フ御神ナレハ此村ニテ齋祭ハ尤ニルリ

同春日神社

祭神　健御賀豆智命　伊波比主命　祭日　氏子

天之子八根命　比賣神

境内四段四畝十二歩

春日祭神四座ノヿハ延喜式神名帳公事根源春日祭ノ條ニ出タリ○古事記傳十五巻五十四丁天兒屋命ノ條下古史傳十三巻又玉襷七巻廿ウ等ニ詳ニ出サレタリ

長林散寺　東本願寺宗高山照蓮寺末　長亨三己酉年開基　本願寺蓮如在判　美濃国満世郷大原釈空善

本尊阿弥陀如来

境内屋敷七畝廿一歩

此大原村ト楢谷村ヲ馬瀬郷ト唱ヘ應仁乱後美濃国士等ニ侵掠ラレテ其後復古テ飛驒国大野郡川上ノ郷トナリシヿ楢谷村條下合見ルヘシ

大原關　俗ニ大原口留番所ト云

天正年中金森家国中平治ノ後四方出入ノ口々ニ關ヲ建ラレタル其一也

○北道游簿云山頂為濃飛二州界抵大原村置關識察行旅援以行券此間沿途溪声琤琮如聞鈞天之樂而秋花爛熳挟路争發如行錦繡障中耳目倶勝頓忘道途之勞

驛舎　高山ヨリ十里 美濃国八幡ヘ八里

高山 三里餘 三ツ谷 二里 有巣 三里 楢谷 二里 大原 美濃郡上

郷士両人

小池五郎兵衛吉成 先祖勲功未由不詳 大原村ニ住居シテ住名取ト稱リ

二村次郎左衛門正純 右同斷 是モ同村ニ住シガ其祖先等往昔年暦詳ナラス 右両家ハ 三木家ヨリ大原村ヲ一圓宛行タリシヲ天正十三乙酉年八月金森家討入其後国中平治ノ節大原村ヲ差出タリシト見ユ由緒書ヲ見テ知ルベシ

小池 二村 由緒之寫

由緒書

天文年中益田郡櫻洞城主三木大和守直頼ト云ヘキヲ文拙キ故アトタカヘリ

其子大野郡灘郷松倉城主左京大夫自綱云々トスヘキ処ナリ

金森家白川ヨリ討入京本能寺ノ逆乱ハ天正十壬午年也

一 天文年中飛驒国大野郡灘口松倉之城主三木大和守直頼公より同国同郡川原大原村高七拾石之所小池五郎兵衛吉成二村次郎左衛門正純ニ下置真頼公御嫡男長門守義綱公同御長子右京大夫義頼公之御子右京大夫頼綱入道久庵老御嫡子右次郎秀綱公迄 [illegible] 五代之内 [illegible] 次郎左衛門 [illegible] 大原村 [illegible] 當国大野郡之城主金森五郎八長近入道法印 [illegible] 天正十三乙酉年七月濃飛之境野 [illegible] 討入 [illegible] 當国大野郡

白川口跡雲之城と同ヶ嶋兵庫頭氏理家人佐野与兵衛同郷岩瀬村に
楯こもり防ぎ候て進退越中国長谷通り理ヶ尚国之名口に至り出奔
入り臣二村頼長孫与三郎正純小池五郎吉成并見楯谷村之住人警固人
喜右衛門雅尚同善城郎吉川伊兵衛先達而遂拝謁候事

金森法印二居り討入ハ天正十三乙酉年八月十日

三木面謁ハ金森家三木征伐ノ後なるへし

一天正年中越前国大野城中為庭瀬?慶之巣此所は後并国大野
郡之金山出羅以テ長近公　公儀より所領進之候て城と仰られ
大閤秀吉公御意之法印将勢居に位出而飛騨国中兵居於て兩
別成住長近公御備前屋喜藤左衛門等於雲之前城と三木氏之遠族
可立申国中四五郡小池與三郎之成二村頼長孫与三郎正純警固人
喜右衛門雅尚此段申上候て三人共ニ可討取旨一揆之方々申聞候て

大野郡龍ヶ嶺切塞二村頼長孫与三郎小池五郎兵衛警固人喜右衛門此之侍兵
衛浅?郡上郷八幡之城と遠藤新兵衛尉胤縁同氏六郎左衛門尉慶隆此
両喜藤并上方知らせて城之住居六郎左衛門長房 後八金森家ニ奉公仕候長近之甥也 於三
城と下飛州一揆之盛備候近候て二將會年飛州より出馬仕候て悍統
御静の年備之上二將濃州より御帰城之節五郎兵衛御取立喜左衛門大宗
境之所々出之人衆不大形然し有之御座候而候事

一朝鮮御陣之節文禄元壬辰年二月十日　大閤秀吉公之御朱印之写
金森兵部八長近入道法印御嫡男出雲守可重八百人致出陣肥前
国名護屋へ供奉之為　大閤秀吉公法印御父子之御座所に在之
御供之上御陣之所見飛州より御暇可下旨上意之文禄三甲

八幡城主ハ稲葉右京亮貞通ニテ石田方ナレハ城へ乙是即関ヶ原合戦ノ頃之

自身屋敷御見立之御墨附ニ為則御証状被下候而池田三左衛門殿拾
宅御廠之近衛ハ引渡居宅ニ候へ共居屋敷ニ候而威吉被居候所引渡
一慶長五庚子歳九月濃州八幡陣之節合戦出雲守重政 右者
　居宅之清右衛門公下ニ　大乗通則池田三左衛門吉成ニ付御取高証状仕候地
東門護奉ニ而居判壱人宛池田殿取高御馬先ニ而討死仕
五郎左衛門御馬先ニ而頭ニ矢ヲ請深手ニ而其後居宅ニ而清印公
ニ居候而大垣ニ帰り其後矢傷ニ而相果五郎左衛門世悴十歳内ノ者
ニ付居屋敷ニ住居名跡ニ而仕候事
一寛永年中ニ金森出雲守殿御代ニ居候而池田五郎左衛門吉政ニ付
御取高正直代ニ而御帰ニ御座候処御番人ニ而相勤候而

午ノ年清印尾州江御帰国之節ハ其節清州ニ而遠慮被成候六拾壱歳
御対面之節ニ御将本近公江御挨拶ニ御座候 大原橋ニ而三十石被
無拠勤候所ニ居候而御伝へ大名村ニ而清印御側ニ居候士ニ而出尾州一揆之儀
清尋右為先年領地ニ而指石高ニ而用候而御代官ニ而御取ニ而可被
五拾三石ハ百姓ニ而作尾州一国ニ而高之法法ニ為以御能く清印右様
朱印三人ニ而一女ニ而遠方以后ニ毛利三人ヲ請候処以致ニ而慶
長四年二月二日樋口村鷲見彦太郎火事ニ而類焼仕候所御朱印
清居居ニ而候時節池田三左衛門女清印公御馬先人江罷出候其上高取
上野三左衛門清完江致参御勝ニ而判為御知行八十五石宛被下ニ而拾五石宛
為以之時清印公江住之比御目付御仕置当村ニ陣屋被置之上彼清印方法

鄕士七左衛門古実名ニ而元文ノ林総兵衛殿御改之節御帳面御鄕中分

信谷田畑之覚

一 三畝七歩 中之稲田

一 八畝七歩 内弐畝八歩ハ下々 下之稗田

一 壱畝七歩 上畑

一 弐畝半七歩 中畑

一 五畝七歩 下畑

当合壱町九畝半

拾七

一 弐畝半七歩 中之稲田

一 八畝七歩 下々稗田

小池五郎兵衛吉次分

一 壱畝七歩 上畑

一 弐畝半七歩 中畑

一 三畝半七歩 下畑

拾七

合壱町八畝半

二村次郎左衛門正則分

右元文年中其名ニ而元文大原村旧地之田畑弐畝壱畝之積 畑七

三畝壱畝之積也 更而相改候代々相伝ル也

寛文九己酉年ハ金森五代飛騨守頼業朝臣領主ノ時ナリ

皆寛文己酉年二月十六日

預出字

次出壱頭上ニ而足之覚

先祖七代

小池五郎兵衛吉次

先祖六代

二村次郎左衛門正則

一
私共儀之儀金森法印様[illegible]只今迄二代目ニ而住居
一 米斗三石九斗四升七合五夕　加下之丞
一 四斗五　三石六斗[illegible]七夕　京下右衛門
右之通代々[illegible]出雲守[illegible]代ニ[illegible]
[illegible]
[illegible]
持[illegible]百姓[illegible]
[illegible]
元禄五年申九月廿八日
大野郡大原村　加下之丞
同村　京下右衛門
進上
伊奈半郎様

是歳金森家出羽上山ニ移封徳川家ノ縣令伊奈半郎源忠篤ヘ此願書ハ差出シタルナルヘシ

小池二村ノ二家トモ其後大原關口留役ヲ奉テ代々勤タリシガ寛政庚戌年俸禄ヲ取上ラレ浪人ニシテ大原村民ト成

楢谷川
楢谷ノ山ヨリ出テ南流大原村ヨリ東ニ流レテ益田郡馬瀬郷川上村ニ至ル

魚　鯀(ハエ)　アマゴ此三年ヲヘテ鱒(マス)ニ成ル　北流川ノ鯀ニ同シテ赤點アリ　石魚(イハナ)　鮊(チカブリ)　雑魚(サツコ)

逆谷

鳥　嶽侯

獸　猪　兎

草　蓬　芹

木　檜　槻　姫子[illegible]松　杤　栗　橅　楢

波太礼(バタレ)乃雪(ユキ)　此村民ノ詞ニイサヽカ雪ノ降タルヲ今日(ケフ)ハ波太礼(ハダレ)タリト

日本政府圖書

イヘリ　礼彦　天保十六年十月大原口ノ關屋ニモノシケルヨリ其ヲキヽテ殊勝ナル雅言ヲ云ヿカナト思ヒテ他ノ[illegible]ニ問シニ皆然リ山村ノ一奇也

○万葉集八ノ六丁　沫雪香薄太礼爾零登見左右二云ヽ古今集長歌

貫之　神無月シグレノヽテ冬ノ夜ノ庭モ波太礼ニフル雪ノ云ヽ夫木集

十六主殿　波太礼雪アダニモアラデ消ヌメリ世ニフルヿヤ物ウカルラム外畧

国立公文書館
National Archives of Japan